
年 報

平成15年度



財団法人 大阪府文化財センター



奥山1号墳 6世紀後半の円墳の石室（古墳時代後期）－京阪支所管轄－



有池遺跡 屋敷地跡（南北朝時代）－京阪支所管轄－



難波宮跡 絵馬（古代）－中部調査事務所管轄－



大坂城跡 障子堀跡（近世）－中部調査事務所管轄－

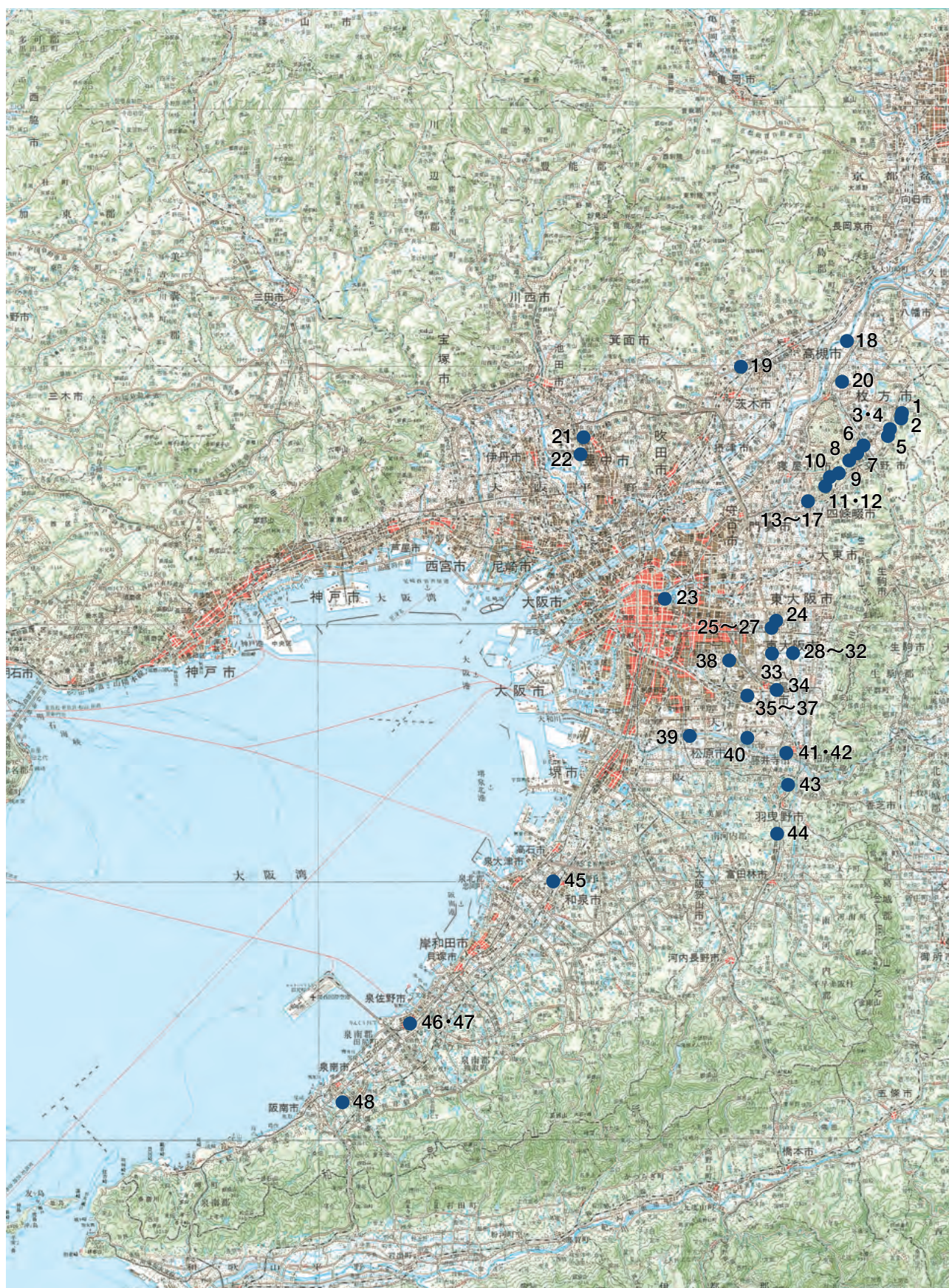


八尾南遺跡 掘立柱建物 検出状況（弥生時代後期）－南部調査事務所管轄－



はざみ山遺跡 井戸 一括土器（飛鳥時代）－南部調査事務所管轄－

実施事業位置図



地図内の番号は調査事業一覧の遺跡（調査名）と対応する。
 （地図は国土地理院発行 1／20万 京都及び大阪、和歌山を50％に縮小して使用した。）

序

平成15年度は、本センターに統合した近つ飛鳥博物館・弥生文化博物館・日本民家集落博物館の順調な進展が常に話題となる1年であった。前2館については館の方針を継承しつつ展示・研究を普及部が支援する姿勢で臨み、日本民家集落博物館については各民家の経年の脆弱化が危惧される事態にあることから「修復検討委員会」を設置、事態の具体的把握、修復計画と所要経費の概算など基本事項が提示され修復へ1歩の前進を見た。また、大阪府交野市原田邸茶室の寄贈を得、移築は次年度にわたるものの久方ぶりの新施設誕生を迎えることとなった。幸い大阪府教育委員会の口添えにより萬野美術館の寄付金を得、2館の施設維持、原田邸茶室移築の資に充てることができた。かように統合後も円滑な運営を強く助成される大阪府教育委員会に厚く感謝するとともに、こうした3館への府民の暖かい励ましや助力が私達の大きな励みになっていることを銘記しておきたい。また、日本民家集落博物館の一面に“カルチュアはっとり”を設置、センターの発掘調査資料を展示し、府民に供することとした。

平成15年度を振り返れば、国土交通省、日本道路公団、大阪府各機関の委託をうけて多くの発掘調査事業が遂行された。わけても第2京阪道路用地の調査は面積広範囲、複雑な様相を示す遺跡が多数集中する中、財団法人京都市埋蔵文化財研究所、財団法人大阪市文化財協会、財団法人和歌山県文化財センターの調査員派遣という支援を得、本センター職員共々に熱意溢れる真摯な取り組みによって年間事業量を完遂、その責任を果たすことができた。また、大阪府警察本部改築用地の調査は難波長柄畠碕宮・難波宮・大坂城の重複する期待値の高い地であるが調査は慎重精緻な中、期間を厳守しつつ大きな成果をあげて完了した。こうした調査期限や計上経費の遵守、明るい調査環境の維持と調査成果の公表は本センターに対する委託者や社会の信頼を得る根源であり、今後、心に銘記して維持をはかると共に、職員一同の精励と友誼あつてのことだけにすぐれた調査研究環境を保全するべく挙げて努めたいと念じている。

昨年度、近つ飛鳥博物館館長大庭脩先生逝去の後、大阪府教育委員会は弥生文化博物館館長金関恕先生に両館館長兼務を委嘱されたが、本年度1月、国立歴史民俗博物館前副館長・奈良大学教授白石太一郎氏を新館長に委嘱された。この間種々ご苦勞いただいた金関先生には深甚の謝意を、着任された白石先生には大きなお力添え頂くようお願い申し上げたいと思う。一方、平成15年11月3日、本センター設立以来、終始理事としてご指導頂き、常に暖いお言葉と明るい笑顔で私達に心の安らぎと学へのひたすらな想いを伝え続けて下さった藤澤一夫先生が逝去された。93才という高齢であられたがまさにセンターの慈父であられた。冥福を祈ると共に今後も理事・評議員のもと職員全員が一体化し確固たる基盤を備え和気充満する中で一層の展開を見せるセンターの姿を見て頂くよう努力したいと願う今日このごろである。

平成16年9月27日

財団法人 大阪府文化財センター
理事長 水 野 正 好

目 次

巻頭カラー

実施事業位置図（カラー）

序

目次

I 財団法人大阪府文化財センター沿革と機構 … 1	(3) 小テーマ展示「シリーズ ここまで わかった考古学」 … 35
1. 設立の趣旨 … 1	(4) 日本民家集落博物館等との共催行事 … 36
2. 沿革 … 1	(5) インターネット・ホームページによる 情報等の公開 … 37
3. 概要 … 3	(6) 文化庁主催「公開普及事業」に協力 … 38
(1) 目的 … 3	(7) 映画の制作 … 38
(2) 事業 … 3	(8) 図書の出版 … 38
(3) 出資者 … 3	(9) 図書の収集 … 40
(4) 基本財産 … 3	(10) 図書の販売及び寄贈 … 40
(5) 機構 … 3	a 図書の販売 … 40
(6) 役員・評議員及び職員 … 5	b 図書の寄贈配布 … 40
a 役員 … 5	(11) 各種データベースの構築 … 40
b 評議員 … 5	(12) 資料等の貸出 … 41
c 職員 … 6	a 資料及び写真の貸出 … 41
II 平成15年度の事業概要及び決算 … 8	b 映画の貸出上映 … 46
1. 理事会及び評議員会 … 8	5. 研修、研究会等 … 47
2. 決算 … 9	(1) 調査部研修 … 47
3. 調査事業の概要 … 10	(2) センター職員研究助成 … 47
(1) 調査事業一覧 … 10	(3) 大阪府埋蔵文化財研究会 … 48
(2) 調査の概要 … 16	(4) 「近畿ブロック埋文研修会」と 「近畿ブロック埋文情報」 … 49
a 京阪支所 … 16	(5) 各博物館とセンター部との共同研究 … 49
b 中部調査事務所 … 21	(6) 第14回考古学国際交流研究会 … 49
c 南部調査事務所 … 26	(7) 体験学習の受け入れ … 50
(3) 保存処理事業 … 29	6. 当センターを訪れた海外の研究者 … 50
(4) 現地説明会等 … 30	7. 弥生文化博物館事業概要 … 51
4. 普及啓発事業 … 32	8. 近つ飛鳥博物館事業概要 … 55
(1) 文化財講座 … 32	9. 日本民家集落博物館事業概要 … 59
(2) 郷土の文化財を見学する会 … 33	事務所・博物館所在地 … 63

I 財団法人大阪府文化財センター沿革と機構

1. 設立の趣旨

社会資本整備のための公共事業や民間事業者による開発行為によって国土の自然環境や歴史的環境が急速な変貌を遂げている現在、後世に伝えるべき貴重な文化財の保存・活用、歴史的景観の保全等を図ることが行政に求められている。

これに応えるためには、有形・無形・民俗文化財等の保全・活用を図るための調査・研究体制を構築するとともに、調査や資料収集の成果の公開や文化財愛護意識の高揚のための普及啓発、文化財を通じての国際交流も積極的に行っていく必要がある。

一方、埋蔵文化財調査についても、数多くの各種公共事業が府下において計画されていることに伴い増加する傾向にあるため、事業者からは円滑な事業実施ができるように調査の迅速な実施が求められており、体制を整備していかなければならない状況にある。

これらの課題に対応し、大阪府教育委員会と一体となった文化財行政の効率的かつ効果的な推進を図るため、平成7年4月に財団法人大阪文化財センターと財団法人大阪府埋蔵文化財協会を発展的に統合して、財団法人大阪府文化財調査研究センターが設立された。

平成14年4月に財団法人大阪府博物館協会との統合により名称を（財団法人大阪府文化財センターとし博物館協会がこれまで行っていた「日本民家集落博物館」の民家等を引き継ぎ、これの公開管理運営を行うとともに、大阪府の「弥生文化博物館」並びに「近つ飛鳥博物館」及び「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を大阪府教育委員会から受託し、センターの本来事業と合わせて、文化財の発掘調査・研究・保存・公開展示及び普及啓発を総合的かつ効果的・経済的に推進し、もって大阪府の文化財行政に寄与していく。

2. 沿革

昭和47. 11. 28	・大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センター設立。
48. 1. 10	・第二阪和国道発掘調査に伴う遺物整理事業に着手。
48. 4. 1	・事務局を設置。（職員数12名）
48. 5. 25	・第1回理事会において評議員を選出、評議員会を設置。
51. 7. 26	・近畿自動車道天理～吹田線内に所在する遺跡の発掘調査に着手。
55. 8. 19	・全国埋蔵文化財法人連絡協議会の設立に参画、副会長となる。
57. 11. 27	・財団法人大阪文化財センター設立10周年記念式典を開催。
58. 9. 1	・近畿自動車道天理～吹田線の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
59. 6. 1	・都市計画道路と近畿自動車道和歌山線の併設区間の発掘調査に着手。
60. 4. 1	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。
61. 2. 28 ～3. 4	・近畿自動車道天理～吹田線発掘調査終了記念事業（写真パネル展、講演会、映画会）を開催。
平成元. 4. 1	・都市計画道路松原泉大津線と近畿自動車道和歌山線の併設区間の発掘調査に伴う出

		土遺物の整理事業の開始。
		・大阪府恩智川治水緑地建設予定地内遺跡の発掘調査に着手。
2.	4. 1	・大阪府新庁舎建設整備事業地内の大坂城跡発掘調査に着手。
2.	9. 1	・財団法人大阪府博物館協会設立。
3.	3. 1	・大阪府より委託を受け、安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査に着手。
4.	11. 27	・財団法人大阪文化財センター設立20周年記念式典を開催。
7.	3. 31	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会との統合に掛る寄附行為の変更認可を受ける。
7.	4. 1	・財団法人大阪文化財センターと財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、新組織を財団法人大阪府文化財調査研究センターとして発足。
		・本部事務所を大阪市城東区蒲生2丁目11番3号小森ビル内に設置。新たに北部調査事務所を茨木市横江1丁目17-34に開設。旧財団法人大阪文化財センター長田分室を中部調査事務所とし、旧財団法人大阪府埋蔵文化財協会泉大津調査事務所を南部調査事務所とする。
		組織の改正により、総務部、調査部の2部制とし、総務部に総務課、普及資料課を置き、調査部に調整課及び北部、中部、南部の3調査事務所を置く。
7.	10. 3	・史跡整備事業に初めて着手（池上曾根遺跡）。
7.	12. 15	・南部調査事務所を堺市熊野町西1丁2-22に移転。
8.	9. 30	・北部調査事務所を箕面市今宮3丁目19-2に移転。
9.	2. 12	・泉佐野収蔵庫竣工。
9.	3. 31	・泉ヶ丘資料室（堺市竹城台3-21-4）竣工。
10.	1. 12	・南阪奈道路関連の調査事業に着手するため、南部調査事務所古市分室を羽曳野市軽里3丁目1-13に開設。
10.	3. 31	・南部調査事務所泉北分室を閉鎖。
12.	8. 21	・本部事務所を堺市竹城台3丁21番4号に移転する。
13.	2. 1	・南部調査事務所を堺市南田出井町1丁1番10号に移転する。
13.	10. 31	・泉佐野収蔵庫を泉佐野市に移管する。
14.	2. 25	・財団法人大阪府博物館協会との統合にかかる寄附行為の変更認可を受ける。
14.	4. 1	・財団法人大阪府文化財調査研究センターは財団法人大阪府博物館協会と統合し、「財団法人大阪府文化財センター」に名称変更。
		組織の改変により、総務部、調査部、普及部の3部及び弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の3博物館部を置く。
		日本民家集落博物館の管理運営、並びに大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館の管理運営の受託事業を財団法人大阪府博物館協会より引継ぎ、実施。
14.	11. 1	・新たに、泉佐野収蔵庫を竣工した。
15.	3. 31	・北部調査事務所を閉鎖。
15.	4. 16	・第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所を寝屋川市堀溝1丁目1-15に開設、京阪支所交野分室を交野市藤が丘1丁目2に開設。

3. 概 要

(1) 目 的

大阪府下における文化財の調査、整理、保存、研究、整備及び活用を行い、大阪府の文化財の保護並びに文化財に対する理解と認識を深めることに寄与する。

(2) 事 業

設立趣旨に基づき次の事業を行う

- ①埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究及び活用
- ②史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用
- ③有形・無形・民俗文化財の調査、保存、研究、整備及び活用
- ④文化財に関する資料、情報の収集及び管理
- ⑤文化財の普及啓発
- ⑥日本民家集落博物館の管理及び運営
- ⑦大阪府が設置する博物館の管理及び運営の受託
- ⑧大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理及び運営の受託
- ⑨その他目的を達成するために必要な事業

(3) 出資者

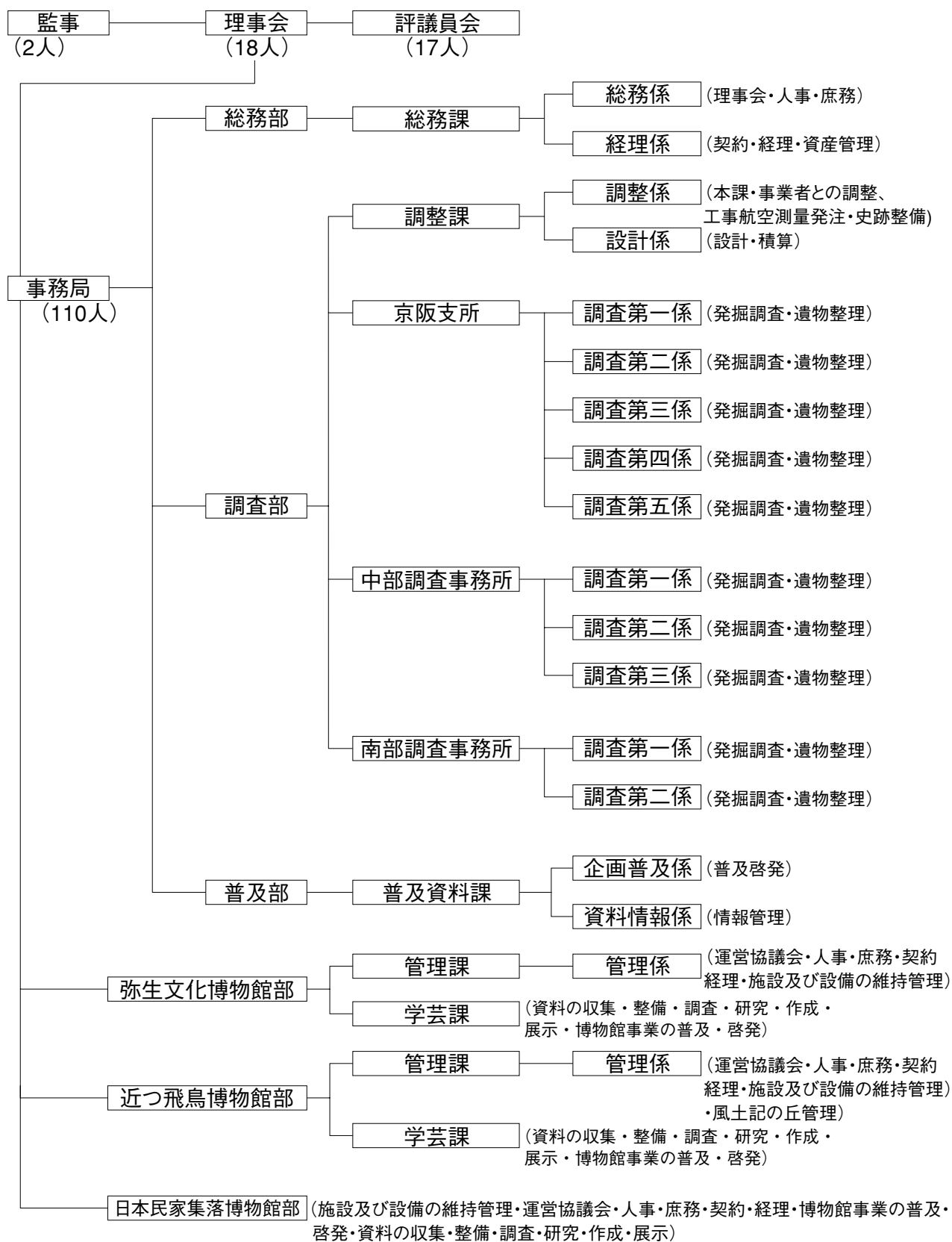
財団法人大阪府博物館協会、大阪府、松下電器産業株式会社、住吉大社、四天王寺、財団法人藤田美術館

(4) 基本財産 116,700千円

(5) 機 構 (平成16年3月31日現在)

《施設所在地》

ア 本部事務所	堺市竹城台3丁21番4号
イ 京阪支所	寝屋川市堀溝1丁目1-15
ウ 中部調査事務所	東大阪市長田東1丁目9番16号
エ 南部調査事務所	堺市南田出井町1丁1番10号
オ 京阪支所交野分室	交野市藤が尾1丁目2
カ 中部調査事務所池島分室	八尾市福万寺町8丁目地先
キ 南部調査事務所古市分室	羽曳野市軽里3丁目1番13号
ク 高石収蔵庫	高石市綾園4丁目地先
ケ 岸和田収蔵庫	岸和田市磯上町1丁目地先
コ 泉佐野収蔵庫	泉佐野市上之郷地内
サ 大阪府立弥生文化博物館	和泉市池上町443
シ 大阪府立近つ飛鳥博物館	南河内郡河南町大字東山299番地
ス 日本民家集落博物館	豊中市服部緑地1番2号



(6) 役員・評議員及び職員

a 役員

(平成16年3月31日現在)

理事長	水野 正好	奈良大学 教授
専務理事	中山 重光	専 任
理 事	伊賀 節郎	財団法人大阪府私学総連合会 代表
	岩田 光利	大阪府立図書館協議会 会長
	大橋 太朗	阪急電鉄株式会社 代表取締役社長
	堅田 直	帝塚山大学 名誉教授
	金関 恕	大阪府立弥生文化博物館 館長
	近藤 公夫	奈良女子大学 名誉教授
	佐々木高明	国立民族学博物館 名誉教授
	白石太一郎	大阪府立近つ飛鳥博物館 館長
	末次 攝子	財団法人高槻市文化振興事業団 特別顧問
	高野 浩二	株式会社建設技術研究所 顧問
	竹内 脩	大阪府教育委員会 教育長
	藤 洋作	関西電力株式会社 取締役社長
	町田 章	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所所長
	松園万亀雄	国立民族学博物館 館長
	森下 洋一	松下電器産業株式会社 代表取締役会長
	領木新一郎	大阪ガス株式会社 代表取締役会長
監 事	小坂裕次郎	大阪府 出納長
	藤田 周子	財団法人藤田美術館 理事兼
顧 問	坪井 清足	財団法人元興寺文化財研究所 副理事長兼所長

b 評 議 員

(平成16年3月31日現在)

有川 春代	ギャラリー白
池田 良治	弁護士
蔵口 康裕	あずさ監査法人大阪事務所 公認会計士
佐藤 茂弘	ボーイスカウト大阪連盟泉州地区協議会 会長
里中 長治	大阪府町村教育長会 会長 (岬町教育委員会 教育長)
沢田 正昭	筑波大学 芸術学系教授
杉本 尚次	大阪人間科学大学 人間科学部教授
高橋 邦夫	りそな銀行 大阪公務部長
辻本 勇	富本憲吉記念館 館長
都出比呂志	大阪大学 文学部教授
狭間恵三子	サントリー-不易流行研究所 主任研究員
林野 全孝	京都府立大学 名誉教授

福井 利彦	大阪府都市教育長協議会 代表（岸和田市教育委員会 教育長）
藤本 裕子	報道記者（フリー）
真弓 常忠	住吉大社 宮司
南谷 恵敬	和宗総本山四天王寺 執事・学校法人四天王寺学園 担当理事
向井 正博	大阪府教育委員会事務局 文化財保護課長

c 職 員

（平成16年 3月31日現在）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
事務局長	中山 重光	技師	森本 徹
総務部長兼総務課長	蔭山 武夫	技師	中尾 智行
総務係長	奥野 一仁	調査第三係長	岡戸 哲紀
主査	白橋 哲	主査	平田 泰
主事	白武さよ子	主査	辻 裕司
主幹兼経理係長	秋山 芳廣	技師	小松 武彦
主任主事	中尾 玲子	技師	市本 芳三
主事	田渕 紀江	技師	伊藤 武
調査部長	玉井 功	調査第四係長	三宅 正浩
調整課長	赤木 克視	技師	鈴木 廣司
調整係長	森屋 直樹	技師	西大條 哲
主査	山上 弘	技師	南出 俊彦
技師	山元 建	技師	後藤 信義
設計係長	山口 和男	調査第五係長	秋山 浩三
主査	鈴木 芳則	主査	前田 義明
主査	山下 篤	主任技師	合田 幸美
京阪支所長兼普及資料課長	渡邊 昌宏	技師	木下 保明
主査	上野 貞子	技師	長戸 満男
主査	田口 宗義	技師	若林 幸子
調査第一係長	宮野 淳一	技師	黒須亜希子
主査	櫻井 久之	中部調査事務所長	小野 久隆
技師	井上 智博	主査	片山 彰一
技師	佐伯 博光	主査	山口 誠治
技師	杉本 厚典	主任主事	鎗山 洋子
調査第二係長	寺川 史郎	技師	服部みどり
主査	吉村 正親	調査第一係長	辻本 武
技師	東 洋一	班長	江浦 洋
技師	山本 雅和	技師	駒井 正明
技師	高橋 潔	技師	信田真美世

調査第二係長	金光 正裕	企画普及係長	石神 幸子
技師	西村 歩	技師	岡本 圭司
技師	本間 元樹	資料情報係長	村上 年生
技師	川瀬 貴子	主任主事	宮本 哲男
技師	若林 邦彦	弥生文化博物館部館長	金関 恕
技師	亀井 聡	副館長兼管理課長	田淵 惠三
技師	奥村 茂輝	管理係長	前田 徳治
技師	後川恵太郎	主任主事	山崎 和哉
調査第三係長	國乗 和雄	学芸課長	小山田宏一
主査	陣内 暢子	専門員	木谷 秀次
主査	入江 正則	専門員	吉村 健
主任技師	田中 龍男	学芸員	三木 弘
技師	廣瀬 時習	学芸員	地村 邦夫
技師	市村慎太郎	近つ飛鳥博物館部館長	白石太一郎
南部調査事務所長	藤田 憲司	副館長兼管理課長	玉崎 勝治
調査第一係長	橋本 高明	管理係長	西野 秀和
主査	村上富貴子	主事	辻本 努
主査	土井 孝之	学芸課長	田中 和弘
主任技師	井藤 暁子	専門員	畠井 浩
主任技師	中村 淳磯	専門員	永島 純一
技師	河端 智	学芸員	上林 史郎
調査第二係長	森屋美佐子	学芸員	岡本 敏行
班長	岡本 茂史	日本民家集落博物館部館長	井藤 徹
主任技師	三好 孝一	副館長	中村 友三
技師	三宮 昌弘	学芸員	山城 統
技師	島崎 久恵	学芸員	小島 久美
普及部長	福岡 澄男		

Ⅱ 平成15年度の事業概要及び決算

1. 理事会及び評議員会

以下のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認又は可決された。

年 月 日	会 議 名 称	場 所	議 案
平成15年 6 月26日	第 1 回評議員会	ホテルアウィーナ大阪	1. 平成14年度事業報告及び収支決算について 2. 理事の選任について
	第 1 回理事会	ホテルアウィーナ大阪	1. 平成14年度事業報告及び収支決算について 2. 評議員の選出について
平成16年 3 月26日	第 2 回評議員会	北大阪急行電鉄（株） 緑地駅ビル 8 階会議室	1. 平成15年度補正予算（案）について 2. 平成16年度事業計画（案）及び収支予算（案） について 3. 理事の選任について
	第 2 回理事会	北大阪急行電鉄（株） 緑地駅ビル 8 階会議室	1. 平成15年度補正予算（案）について 2. 平成16年度事業計画（案）及び収支予算（案） について 3. 評議員の選出について 4. 役員報酬について

2. 決 算

収 支 計 算 書 総 括 表

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	書籍等販売事業 特別会計	内部取引消去
I 収入の部				
1. 基本財産運用収入	1,464,963	1,464,963	0	
2. 基金運用収入	1,113	1,113	0	
3. 会費収入	5,550,000	5,550,000	0	
4. 埋蔵文化財事業収入	4,179,502,412	4,179,502,412	0	
5. 弥生文化博事業収入	180,349,836	180,349,836	0	
6. 近つ飛鳥博事業収入	198,941,840	198,941,840	0	
7. 民家集落博事業収入	14,234,004	14,234,004	0	
8. 書籍等販売事業収入	9,928,644	0	9,928,644	
9. 補助金等収入	16,247,000	16,247,000	0	
10. 寄附金収入	10,440,970	10,440,970	0	
11. 雑収入	8,050,057	8,005,018	45,039	
12. 固定資産売却収入	14,286	14,286	0	
13. 特定預金取崩収入	33,362,355	33,362,355	0	
14. 繰入金収入	0	13,379,789	3,570,350	△ 16,950,139
当期収入合計(A)	4,658,087,480	4,661,493,586	13,544,033	△ 16,950,139
前期繰越収支差額	5,691,177	3,164,475	2,526,702	0
収入合計(B)	4,663,778,657	4,664,658,061	16,070,735	△ 16,950,139
II 支出の部				
1. 埋蔵文化財事業費	3,907,228,701	3,907,228,701	0	
2. 弥生文化博事業費	180,349,836	180,349,836	0	
3. 近つ飛鳥博事業費	198,956,960	198,956,960	0	
4. 民家集落博事業費	34,020,790	34,020,790	0	
5. 府立博自主事業費	2,464,178	2,464,178	0	
6. 書籍等販売事業費	9,942,270	0	9,942,270	
7. 管理費	188,022,256	188,022,256	0	
8. 固定資産取得支出	21,856,740	21,856,740	0	
9. 特定預金支出	89,008,327	89,008,327	0	
10. 繰入金支出	0	13,736,059	3,214,080	△ 16,950,139
11. 予備費	0	0	0	
当期支出合計(C)	4,631,850,058	4,635,643,847	13,156,350	△ 16,950,139
当期収支差額 (A) - (C)	26,237,422	25,849,739	387,683	0
次期繰越収支差額(B) - (C)	31,928,599	29,014,214	2,914,385	0

※ 内部取引消去

書籍等販売事業特別会計（センター部）から一般会計（埋蔵文化財事業）への繰入	2,208,730円
書籍等販売事業特別会計（博物館部）から一般会計（府立博自主事業）への繰入	1,000,000円
一般会計（埋蔵文化財事業）から同会計（民家集落博事業）への繰入	6,167,385円
一般会計（埋蔵文化財事業）から同会計（府立博自主事業）への繰入	4,000,000円
一般会計（弥生文化博事業）から同会計（府立博自主事業）への繰入	928円
一般会計（近つ飛鳥博事業）から同会計（府立博自主事業）への繰入	2,746円
一般会計（埋蔵文化財事業）から書籍等販売事業特別会計（センター部）への繰入	3,565,000円
書籍等販売事業特別会計（センター部）から同会計（博物館部）への繰入	5,350円

3. 調査事業の概要

(1) 調査事業一覧

埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理を事業施工者の委託を受けて、下記のとおり実施した。

管轄	番号	遺跡（調査名）	調査地	事業名	事業者名	事業の種別	受託契約期間
京 阪 支 所 中 部	1	津田遺跡(確認) 03 - 1〔調査〕	枚方市津田	津田・東倉治遺跡(確認)	国土交通省 日本道路公団	道路建設	H15. 5. 1 ～H15. 10. 31
		東倉治遺跡(確認) 03 - 1〔調査〕	交野市東倉治				
	2	東倉治遺跡 03 - 2〔調査〕	交野市東倉治 2 丁目	東倉治遺跡	国土交通省 日本道路公団	道路建設	H15. 5. 1 ～H16. 3. 31
	3	有池遺跡 03 - 1〔調査〕	交野市青山 4 丁目	有池遺跡(2)	国土交通省	道路建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31
	4	有池遺跡 03 - 2〔調査〕	交野市青山 3 丁目	有池遺跡(3)	国土交通省	道路建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31
	5	上私部遺跡 03 - 1〔調査〕	交野市青山 2 丁目	上私部遺跡	国土交通省 日本道路公団	道路建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31
	6	上の山遺跡 03 - 1〔調査〕	交野市私部西 5 丁目 枚方市茄子作南町	上の山遺跡	国土交通省 日本道路公団	道路建設	H15. 5. 1 ～H16. 3. 31
	7	茄子作遺跡(確認) 03 - 1〔調査〕	枚方市茄子作南町 交野市星田北 9 丁目他	茄子作遺跡他(確認)	国土交通省 日本道路公団	道路建設	H15. 10. 1 ～H16. 3. 31
	8	寝屋東遺跡 03 - 1〔調査〕	寝屋川市寝屋	寝屋東遺跡(3)	国土交通省	道路建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31
		寝屋東遺跡 03 - 2〔調査〕	寝屋川市寝屋				
	9	寝屋南遺跡 03 - 1〔調査〕	寝屋川市寝屋	寝屋南遺跡	国土交通省	道路建設	H15. 4. 1 ～H15. 10. 31
	10	奥山遺跡 03 - 1〔調査〕	寝屋川市寝屋	奥山遺跡	国土交通省	道路建設	H15. 8. 1 ～H16. 3. 31
	11	太秦遺跡 03 - 1〔調査〕	寝屋川市国守町・打上	大尾遺跡・ 太秦遺跡(太秦古墳群)	国土交通省	道路建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31
	12	大尾遺跡 03 - 1〔調査〕	寝屋川市国守町				
	13	讃良郡条里遺跡 03 - 1〔調査〕	寝屋川市高宮・小路	讃良郡条里遺跡(2)	国土交通省	道路建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31
	14	讃良郡条里遺跡 03 - 2〔調査〕	寝屋川市高宮・小路	讃良郡条里遺跡(3)	国土交通省	道路建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31
	15	讃良郡条里遺跡 03 - 3〔調査〕	寝屋川市楠根南町	讃良郡条里遺跡(4)	国土交通省	道路建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31
	16	讃良郡条里遺跡 03 - 4〔調査〕	寝屋川市新家 2 丁目他	讃良郡条里遺跡(5)	国土交通省	道路建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31
	17	讃良郡条里遺跡 03 - 5〔調査〕	寝屋川市新家 2 丁目	讃良郡条里遺跡(6)	国土交通省	道路建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31
中 部	18	淀川河床遺跡(その 1)(確認) 03 - 1〔調査・整理〕	枚方市牧野北町	淀川河床遺跡(その 1)(確認)	国土交通省	高規格堤防建設	H15. 6. 2 ～H15. 10. 31
	19	総持寺遺跡 02 - 1・03 - 1〔調査・整理〕	茨木市三島丘 2 丁目	総持寺遺跡(2)	大阪府建築都市部	集合住宅建設	H15. 5. 1 ～H16. 3. 31

旧15年度分 事業費 (千円)	調査面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者	備考
29,909	1,352	集落 古代～中世	ピット・溝・土坑・堀割・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器	秋山浩三 服部みどり (松尾洋次郎)	
		集落 弥生～古墳	土坑・落ち込み・土器溜り 弥生土器・土師器	秋山浩三 服部みどり (松尾洋次郎)	
68,974	4,735	集落 弥生後期～中世	溝・土坑・落ち込み 弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・石器・石製品	前田義明 (河村恵理)	
202,916	14,060	集落・生産 古墳・中世	ピット・井戸・土坑・石敷遺構・屋敷地 土師器・瓦器・瓦質土器・陶磁器	木下保明 若林幸子	
166,030	7,565	集落・生産 縄文～中世	堅穴住居・柵・溝・井戸・土坑・焼土坑・水場・水田・大溝・流路 縄文土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・石器・木製品・金属製品・銭貨	合田幸美 長戸満男 (手島美香)	
144,219	6,852	集落 古墳中期～室町	堅穴住居・掘立柱建物・溝・井戸・土坑・流路 土師器・須恵器・瓦器・輸入陶磁器・陶器・瓦	鈴木廣司 出口 勲 西大條 哲(相良英樹)	
175,074	9,613	集落・生産 縄文晩期～中世	堅穴住居・溝・井戸・土坑・水田・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・石器・木製品	南出俊彦 後藤信義 (三浦基行)	
45,700	2,497	集落・生産 古墳～中世	堅穴住居・ピット・溝・土坑・水田・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・石器・鉄製品	秋山浩三 黒須亜希子 (松尾洋次郎)	
96,061	5,490	集落・生産 飛鳥・中世	溝・土坑・水田・谷 土師器・須恵器・瓦器・輸入陶磁器(青磁・白磁)・陶磁器	平田 泰 (青柳佳奈)	
	1,204	集落・生産 飛鳥・中世	掘立柱建物・溝・土坑・水田・谷 土師器・須恵器・瓦器・輸入陶磁器(白磁)・陶磁器	平田 泰 (青柳佳奈)	
50,309	5,830	集落 飛鳥	堅穴住居・掘立柱建物 土師器・須恵器	伊藤 武 (小西絵美)	
45,228	2,630	古墳 古墳	円墳(横穴式石室) 土師器・須恵器・玉類・耳環・鉄鉾・鉄鏢・鉄釘・鉄刀子・馬具	伊藤 武 (小西絵美)	
181,442	9,710	集落・周溝墓・古墳 弥生～古代	堅穴住居・掘立柱建物・柵・周溝墓・古墳・土壇墓・溝・井戸 弥生土器・須恵器・埴輪・石器・磨製石剣・勾玉・耳環	小松武彦 市本芳三 (松下知世)	
	4,143	集落 弥生～中世	堅穴住居・掘立柱建物・溝・土坑・谷 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦	辻 裕司 (清岡廣子)	
257,600	7,192	集落・生産 縄文～中世	堅穴建物・掘立柱建物・井戸・流路 縄文土器・土師器・石鏃・石錐・尖頭器・青銅製品	櫻井久之 井上智博 (西田倫子)	
258,847	8,189	集落・生産 縄文・古墳～中世	掘立柱建物・溝・井戸・土坑・石器製作跡・水田・流路 土師器・須恵器・瓦器・輸入陶磁器(青磁・白磁)・陶磁器・瓦	杉本厚典 佐伯博光 (正岡大実)	
210,743	5,674	集落・生産 縄文～中世	掘立柱建物・溝・井戸・土坑・水田・畠・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・陶器・石器	小谷 裕 山本雅和 高橋 潔 (多賀晴司)	
257,138	7,041	集落・生産 弥生～近世初頭	堅穴住居・掘立柱建物・溝・井戸・土坑・水田 土器(弥生時代中期～近世初頭)・陶磁器・石器・木製品	東 洋一 中尾智行 (島田裕弘)	
272,328	6,680	集落・生産 弥生～古墳	柱穴・井戸・土坑・水路・井堰・水田 土師器・須恵器・韓式系土器・初期須恵器・製塩土器・石製品・玉類・木製品・馬骨・馬歯	吉村正親 森本 徹 (宮本飛鳥)	
27,422	75	散布地 中世～近世	溝・水田 土師器・瓦器・陶磁器・土錘・土人形	辻本 武 (小野亜由美)	
41,153	1,076	集落 弥生・古代・中世	堅穴住居・掘立柱建物・ピット・溝・土坑 弥生土器・土師器・須恵器・製塩土器・緑釉陶器・黒色土器	信田真美世 (小野亜由美)	

管轄	番号	遺跡（調査名）	調査地	事業名	事業者名	事業の種別	受託契約期間
中 部 調 査 事 務 所	20	禁野本町遺跡 03 - 1〔調査〕	枚方市禁野本町	禁野本町遺跡	財務省	集合住宅建設	H15. 9. 1 ～H16. 12. 28
	21	蛭池遺跡 02 - 1〔調査・整理〕	豊中市蛭池中町 1 丁目	蛭池遺跡（4）	大阪府土木部	道路建設	H15. 1. 31 ～H15. 11. 28
	22	勝部遺跡 〔整理〕	豊中市走井 2 丁目	勝部遺跡（4）	国土交通省	公園造成	H15. 4. 1 ～H15. 9. 30
		勝部東遺跡 〔整理〕	豊中市勝部 1 丁目				
	23	大坂城跡 03 - 1〔調査〕	大阪市中央区大手前 3 丁目	大坂城跡（2）	大阪府警察本部	府庁舎建設	H15. 6. 2 ～H16. 3. 31
	24	岩田遺跡 03 - 1〔調査〕	東大阪市岩田町 4 丁目他	岩田遺跡他	近畿日本鉄道（株）	鉄道高架化	H15. 10. 1 ～H16. 3. 31
		岩田遺跡隣接地（確認） 03 - 1〔調査〕	東大阪市岩田町 1 丁目他				
	25	瓜生堂遺跡 〔整理〕	東大阪市若江西新町 2 丁目	瓜生堂遺跡（地下河川）	大阪府土木部	河川建設	H15. 5. 1 ～H16. 2. 27
	26	瓜生堂遺跡 03 - 1〔調査・整理〕	東大阪市若江西新町 1 丁目	瓜生堂遺跡（下水）	大阪府土木部	下水道整備	H15. 8. 1 ～H16. 2. 27
	27	瓜生堂遺跡 〔整理〕	東大阪市岩田町・西岩田町	瓜生堂遺跡（近鉄）	大阪府土木部	鉄道高架化	H15. 5. 1 ～H16. 2. 27
	28	池島・福万寺遺跡 02 - 1〔調査〕	東大阪市池島町	池島遺跡（8）	大阪府土木部	治水緑地建設	H14. 2. 22 ～H16. 2. 27
	29	池島・福万寺遺跡 〔整理〕	東大阪市池島町				
	30	池島・福万寺遺跡 02 - 4〔調査〕	八尾市福万寺町	池島遺跡（9）	大阪府土木部	治水緑地建設	H15. 1. 24 ～H17. 2. 28
		池島・福万寺遺跡 02 - 5〔調査〕	八尾市福万寺町				
	31	池島・福万寺遺跡 02 - 6〔調査〕	東大阪市池島町				
		池島・福万寺遺跡 02 - 7〔調査〕	東大阪市池島町				
		池島・福万寺遺跡 02 - 8〔調査〕	東大阪市池島町				
		池島・福万寺遺跡 03 - 2〔調査〕	東大阪市池島町				
	32	池島・福万寺遺跡 03 - 1〔調査〕	八尾市福万寺町	池島・福万寺遺跡Ⅱ（1）	大阪府土木部	治水緑地建設	H16. 2. 19 ～H18. 3. 15
		池島・福万寺遺跡 〔整理〕	東大阪市池島町				
	33	山賀遺跡 03 - 1〔調査〕	八尾市新家町 5 丁目	山賀遺跡	大阪府土木部	調整池築造	H16. 2. 2 ～H17. 9. 30
	34	小阪合遺跡 〔整理〕	八尾市若草町 1 番	小阪合遺跡（2）	都市基盤整備公団	集合住宅建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31

旧5年度分 事業費 (千円)	調査面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者	備考
32,392	2,733	集落 古代・近現代	竪穴住居・掘立柱建物・道路状遺構・溝・土坑 土師器・須恵器・埴輪・瓦	駒井正明（永井晃子）	平成15～16年度
50,253	1,596	集落 古墳～中世	溝・流路 土師器・須恵器・瓦器・円筒埴輪・瓦	駒井正明（小澤晃子）	平成14～15年度
8,506	-	集落・生産 弥生～古墳・中世	掘立柱建物・溝・井戸・土坑・水田・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・初期須恵器・陶質土器・ 瓦器・瓦質土器・輸入陶磁器・石器・石製品・玉類・木製品・鉄 製品	森本 徹	
	-	集落・生産 古代末～中世	柱穴・溝・土坑 土師器・瓦器・須恵器・瓦質土器	森本 徹	
248,959	3,896	宮都・城郭・城下町 古墳～近代	礎石建物・堀・溝・井戸・土坑・堀・墓・道路状遺構・トーチカ 状遺構・谷・護岸遺構・集石遺構 土師器・須恵器・漆容器・輸入陶磁器・陶磁器・瓦・金箔押し 瓦・土製品・木製品・金属製品・骨類・貝類・種実類	江浦 洋（島内洋二） （小澤晃子）	
33,088	190	集落・生産 古墳前期～中世	土坑・水田・島島・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器	金光正裕（宮田佳代）	
	77	-	ピット・溝・流路 弥生土器・須恵器・瓦器・瓦質土器	金光正裕（宮田佳代）	
10,000	-	集落・周溝墓・生産 弥生前～近世	掘立柱建物・方形周溝墓・溝・井戸・土坑・水田・島島 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・木製品・木棺・鉄製 品	若林邦彦	
15,979	115	周溝墓関連・生産 弥生前～中世	溝・土坑・落ち込み・水田・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・石鏃・磨製石剣・木 製品	若林邦彦	
32,745	-	集落・周溝墓・生産 弥生～中世	竪穴住居・掘立柱建物・周溝墓・溝・井戸・土坑・集石遺構・大 溝・水田・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶器・埴輪・瓦・土製品・磨 製石斧・砥石・石製品・木製品・木棺	川瀬貴子（宮田佳代）	
397,661	4,371	生産・集落 縄文～近・現代	水田・島島・水路・杭列・ピット・溝・井戸・土坑・流路 縄文土器・弥生土器・須恵器	廣瀬時習（福田由里子）	平成13～15年度
	-	生産・集落 縄文～近・現代	水田・島・島島・水路・ピット・溝・土坑・井戸・流路・堰 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土 器・輸入陶磁器・陶磁器・瓦・石製品・木製品・金属製品	陣内暢子	平成13～15年度
290,850	3,915	生産・集落 縄文～近・現代	水田・島・島島・ピット・溝・土坑・水路・流路 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土器・輸入陶 磁器・陶磁器・瓦・石器・木製品・金属製品・獣骨	市村慎太郎（柏田有香）	平成14～16年度
		生産・集落 縄文～近・現代		市村慎太郎（柏田有香）	平成14～16年度
	2,160	生産・集落 縄文～近・現代	水田・溝・流路 瓦質土器	入江正則	平成14～16年度
		生産・集落 縄文～近・現代	水田・島島・掘立柱建物・ピット・溝・井戸・土坑・落ち込み・ 暗渠 土師器・鋳型	田中龍男（滝口洋美）	平成14～16年度
		生産・集落 縄文～近・現代	水田・島島・溝・土坑・落ち込み 瓦器・瓦質土器・陶磁器	國乗和雄	平成14～16年度
		生産・集落 縄文～近・現代	水田・ピット・溝・土坑・落ち込み・流路 土師器・須恵器・瓦質土器・陶磁器・瓦	入江正則	平成14～16年度
5,384	0	-	-	陣内暢子 廣瀬時習 （福田由里子）	平成15～17年度 平成15年度は準備工
	-	生産・集落 縄文～近・現代	水田・島・島島・水路・ピット・溝・井戸・土坑・流路・堰 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土 器・輸入陶磁器・陶磁器・瓦・石製品・木製品・金属製品	陣内暢子 廣瀬時習 （福田由里子）	平成15～17年度
1,229	0	-	-	（宮田佳代）	平成15～17年度 平成15年度は準備工
32,976	-	集落・生産 弥生～平安	掘立柱建物・ピット・溝・井戸・土坑・土器溜り・水田・流路 土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・瓦器・木製品	本間元樹	

管轄	番号	遺跡（調査名）	調査地	事業名	事業者名	事業の種別	受託契約期間
中部調査事務所	35	久宝寺遺跡 〔調査・整理〕	八尾市大字亀井	久宝寺遺跡(水環境)	大阪府土木部	水処理施設建設	H14. 4. 1 ～H16. 2. 27
	36	久宝寺遺跡 〔調査・整理〕	八尾市亀井	久宝寺遺跡(防火水槽)	都市基盤整備公団	防火水槽建設	H15. 3. 1 ～H15. 9. 30
	37	久宝寺遺跡 〔整理〕	八尾市大字亀井	久宝寺遺跡(東西線)	都市基盤整備公団	道路建設	H15. 6. 2 ～H16. 2. 27
南部調査事務所	38	東大阪市南西部遺跡群(確認) 03 - 1 〔調査〕	東大阪市永和 1 丁目 ～衣摺 5 丁目	東大阪市南西部遺跡群(確認)	大阪外環状鉄道（株）	鉄道高架化	H15. 6. 2 ～H16. 1. 30
	39	松原市内遺跡群(確認) 03 - 1 〔調査〕	松原市天美北 1 丁目他	松原市内遺跡群(確認)	阪神高速道路公団	道路建設	H15. 10. 31 ～H16. 3. 31
					大阪府土木部		H15. 10. 31 ～H16. 6. 30
	40	八尾南遺跡 02 - 2 〔調査〕	八尾市若林地区	船橋遺跡(4)	国土交通省	高規格堤防建設	H15. 3. 26 ～H16. 3. 25
	41	船橋遺跡 02 - 3 〔調査・整理〕	藤井寺市川北 3 丁目 柏原市大正 2 丁目				
	42	船橋遺跡 02 - 3 他 〔整理〕	藤井寺市川北 3 丁目・ 大井 5 丁目 柏原市大正 2 丁目	船橋遺跡(5)	国土交通省	高規格堤防建設	H16. 2. 27 ～H17. 1. 31
		八尾南遺跡 03 - 1 〔調査〕	八尾市若林地区				
	43	はざみ山遺跡 〔調査・整理〕	藤井寺市藤井寺公団 1 番	はざみ山遺跡	都市基盤整備公団	集合住宅建設	H15. 4. 1 ～H16. 3. 31
	44	尺度遺跡 02 - 1 〔調査・整理〕	羽曳野市尺度・蔵之内	尺度遺跡(6)	大阪府土木部	道路建設	H15. 2. 28 ～H16. 2. 27
	45	史跡池上曾根遺跡 03 - 1 〔調査〕	和泉市池上町	史跡池上曾根遺跡	和泉市	遺跡整備	H15. 7. 1 ～H15. 12. 26
	46	大西遺跡 〔調査〕	泉佐野市大西 1 丁目	湊遺跡他(調査)	南海電気鉄道（株）	鉄道高架化	H14. 9. 2 ～H15. 5. 30
	47	湊遺跡 〔整理〕	泉佐野市湊	湊遺跡他(整理)	南海電気鉄道（株）	鉄道高架化	H15. 6. 2 ～H16. 3. 31
		上町東遺跡 〔整理〕	泉佐野市旭町・大宮町				
		若宮遺跡 〔整理〕	泉佐野市大宮町・若宮町				
		大西遺跡 〔整理〕	泉佐野市若宮町・大西町				
南部調査事務所	48	男里遺跡 03 - 1 〔調査〕	泉南市男里 1 丁目他	男里遺跡(10)	大阪府土木部	道路建設	H15. 6. 2 ～H16. 2. 27
		男里遺跡 03 - 2 〔調査〕	泉南市男里 2 丁目				
		男里遺跡 〔整理〕	泉南市男里・馬場・幡代				

旧5年度分 事業費 (千円)	調査面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者	備考
142,409	9,334	集落・墳墓・生産 縄文晩期～中世	竪穴住居・掘立柱建物・墳墓・溝・井戸・土坑・土器溜・水田・ 畠・島畠・水路・溜池・流路・しがらみ 縄文土器・弥生土器・土師器・墨書土器・須恵器・瓦器・陶磁 器・土偶・瓦・石器・石製品・木製品・建築材・木棺・金属製 品・銭貨・スラグ・骨類	亀井 聡 後川恵太郎 奥村茂輝 (新垣香苗) (永野 仁) (菊井佳弥)	平成14～15年度
7,417	93	生産 弥生～古代	水田 弥生土器	金光正裕	平成14～15年度
19,201	-	集落・古墳・生産 縄文晩期～中世	竪穴住居・古墳・ピット・溝・井戸・土坑・水田・畠・島畠・流 路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・磨製石 器・木製櫃・割竹形木棺・準構造船部材・銅鏃	西村 歩	
18,078	150	集落 弥生中期～後期	島畠 縄文土器・弥生土器・須恵器・瓦器	橋本高明 河端 智	
37,004	2,223	集落・生産 弥生～中世	竪穴住居・柱穴・溝・井戸・土坑・水田 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・瓦器・陶磁 器・埴輪	土井孝之 河端 智 (岡田佳之)	平成15～16年度
218,561	4,763	集落・周溝墓・生産 旧石器～中世	竪穴住居・掘立柱建物・方形周溝墓・土器埋設遺構・溝・井戸・ 土坑・水田・水路・流路 旧石器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・輸入陶磁 器・石器・鉄製品	岡本茂史 島崎久恵	平成14～15年度
	1,422	集落・生産 縄文～中世	掘立柱建物・溝・井戸・土坑・炉跡・暗渠・水田 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ガラス小玉鋳型・甕羽 口・石器	三宮昌弘 (大島施子)	平成14～15年度
4,948	-	集落・周溝墓・生産 縄文～中世	竪穴住居・掘立柱建物・溝・井戸・土坑・炉跡・方形周溝墓・暗 渠・水田 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・漆容器・黒色土器・瓦 器・瓦質土器・瓦・陶磁器・ガラス小玉鋳型・甕羽口・石器	岡本茂史 三宮昌弘	平成15～16年度
	0	-	-	岡本茂史	平成15～16年度 平成15年度は準備工
86,411	8,271	集落・生産 旧石器～近世	掘立柱建物・柵・井戸・溝・土坑 土師器・須恵器・漆容器・埴輪・土製仮面・陶硯・甕羽口	三好孝一 (福佐美智子)	
37,420	903	集落 弥生～中世	竪穴住居・掘立柱建物・ピット・溝・井戸・土坑 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦・石器・種子	島崎久恵	平成14～15年度
19,600	920	集落・生産 弥生前期～室町	ピット・環濠・流路 弥生土器	土井孝之 井藤暁子	
11,282	0	集落・生産 弥生後期～中世	掘立柱建物・土壇墓・区画溝・井戸・土坑・水田 弥生土器・製塩土器・土器(中世)・白磁碗・瓦・文字瓦・五輪 塔	村上富喜子 井藤暁子	平成14～15年度
27,957	-	集落 弥生後期～近世	ピット・溝・土坑・流路 弥生土器・製塩土器・土師器・須恵器・瓦質土器・陶磁器・瓦	村上富喜子	
	-	集落 中世前期～近世	掘立柱建物・ピット・溝・土坑 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・瓦	村上富喜子	
	-	集落 中世後期～近世	ピット・井戸・土坑 土師器・須恵器・瓦質土器・陶磁器	村上富喜子	
	-	集落・生産 弥生後期～中世	掘立柱建物・土壇墓・区画溝・井戸・土坑・水田 弥生土器・製塩土器・土器(中世)・白磁碗・瓦・文字瓦・五輪 塔	村上富喜子	
59,999	1,810	集落 弥生中期末～中世	竪穴住居・掘立柱建物・ピット・溝・土坑 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器	中村淳磯 (岡田佳之)	
	20	集落 弥生中期末	ピット・溝 弥生土器	中村淳磯 (岡田佳之)	
	-	集落 弥生中期末～中世	竪穴住居・掘立柱建物・方形周溝墓・ピット・溝・井戸・土坑・大 溝・流路・鍛冶炉 縄文土器・弥生土器・石器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・ 瓦質土器・輸入陶磁器・瓦・甕羽口・鍛造剥片・スラグ	中村淳磯 (岡田佳之)	

(2) 調査の概要

a 京阪支所

1. 津田遺跡(確認) 03-1 [調査]・東倉治遺跡(確認) 03-1 [調査]

津田遺跡は枚方市、東倉治遺跡は交野市に所在し、ともに生駒山西麓に立地する。あわせて22カ所のトレンチを設定し、確認調査を実施した。その結果、両遺跡とも部分的な範囲ではあるが、中世以前の遺構・遺物の検出がみられ、その周辺には集落域などが分布している事実を把握できた。津田遺跡では、山麓部の平坦箇所ほかで中世期の複数遺構面が確認でき、また、弥生時代中期の遺物包蔵もみられた。東倉治遺跡では、弥生時代末の土器だまりを形成する遺構や、同期～布留式期の包含層を検出できた。

2. 東倉治遺跡03-2 [調査]

調査地は交野市東倉治2丁目に所在し、交野山西斜面に立地する。調査区は里道や水路の関係で5区に分けて実施した。今調査で検出した主要遺構には、1・2・5区で弥生時代後期から古墳時代にかけての流路状落込みと3区で同時期の土坑群、1区で古墳時代後期の焼土坑3基、2・4区で時期不明の谷状地形などがある。流路状落込みは幅が20m前後、深さ0.6mほどで、南東から北西へ蛇行しながら調査対象地外へのびている。3区の土坑群は形状や深さが様々で、用途不明。1区の焼土坑は長方形1基、円形2基である。いずれも壁面が赤く焼けており、埋土には炭化材が充満していた。土坑の炭化材1点を放射性炭素による年代測定を行った結果、古墳時代後期の年代値がでている。

3. 有池遺跡03-1 [調査]



中世の屋敷地

有池遺跡は、交野市青山4丁目地先に所在し、交野山のふもと免除川の南側にひろがる、中世(鎌倉～室町時代)の遺跡である。今回の調査によって、居住域と生産域から中世の集落を検出した。居住域は、微高地上に立地し、方形にめぐる溝・濠によって区画された敷地内に、掘立柱建物と石組みの井戸などの各種の遺構が整然と配置されている。建物の中には木の柱がそのまま残っているところもある。生産域は、埋没が進んだ谷地形を呈する湿地に展開し、鋤溝と免除川と同じ流れの方向をもつ

自然流路を検出している。また、古墳時代後期の須恵器の壺、杯身・蓋を伴う土壙墓を1基検出している。主な出土遺物には、中世の土師器、瓦器、中国製青磁・白磁、常滑陶器、東播系陶器などがある。

4. 有池遺跡03-2 [調査]

交野市青山3丁目に所在する。生駒山西麓の扇状地に立地し、現在は緩やかな斜面地に棚田がひろがる景観を呈するが、発掘調査では、長さ約200mの調査地のなかで埋没した谷を4条検出し、人の手状に細い谷が幾筋もはしる原景観が復元できる。

遺構は、谷および谷に挟まれた微高地上で13世紀後半を中心とする中世の居住域を、その他微高地上で平安時代後期の炭窯となる可能性をもつ土坑を、谷の肩部で斜面に立地する古墳時代中期～後期の竪穴住居1棟を検出した。

谷では、谷を埋積しながら連綿と営まれた12世紀後葉から中世後半にいたる水田を検出した。いずれの水田も谷の斜面地を整形し溝を設け方形の水田区画とする。水田の境には水口とみられる土坑や石組があり、その近辺では瓦器碗と砥石がおかれた完形の曲物を検出した。谷の下層では古墳時代中期～後期の溝を検出した。多量の遺物が出土したことから、周辺には後世の開発で削平された、古墳時代中期～後期の集落が存在した可能性がある。

5. 上私部遺跡03-1 [調査]

上私部遺跡は、第二京阪道路（大阪北道路）建設に伴う事業の一環として、交野市青山2丁目地内で実施した発掘調査である。

今回の調査では、7カ所の調査区を設定した。全体的に遺跡の遺存状況は良好で、各調査区において古墳時代後期から飛鳥時代にかけての掘立柱建物を36棟、古墳時代後期の竪穴住居を40棟検出した。

この成果により、当該地一帯に広がる大規模な古墳時代の集落跡の存在が推定できよう。また、当該地は生駒山系の段丘上に立地しており、東側の丘陵には倉治古墳群・寺古墳群などの古墳時代後期の群集墳が、また南側の平地には交野車塚古墳などの前方後円墳が存在する絶好のロケーションにある。



2区 全景

6. 上の山遺跡03-1 [調査]

交野市と枚方市にまたがる遺跡で、天野川西側の、枚方丘陵から南北方向に細長く延びる丘陵部と、その両側の谷部に立地する。

段丘の西側縁辺部で、弥生時代の竪穴住居1棟と、ベッド状遺構や、作りつけの竈をもつ古墳時代前～中期の竪穴住居を4棟検出。一方、東側縁辺部で、弥生時代中期前半の溝1条と、排水溝を有する古墳時代中期の竪穴住居を1棟検出した。また、段丘崖の中腹で、須恵器の甕を据える水場遺構を検出した。



古墳時代の竪穴住居群

丘陵西側の谷では、谷底を網目状にはしる弥生時代中期前半～古墳時代中期の流路群が、飛鳥時代にほぼ埋没したのち、平安時代以降は水田として利用されてきた。

7. 茄子作遺跡（確認）03-1 [調査]

茄子作遺跡確認調査では、約96,000㎡の路線範囲内に、計47本のトレンチを設定して調査を行った。結果、北東部の谷地をのぞむ丘陵断崖上において、弥生時代～古墳時代初頭の竪穴住居と8世紀の掘立柱建物の柱列を検出した。また、谷埋土からは縄文土器（前期）および有茎尖頭器が出土した。さらに、丘陵尾根筋上では古墳時代後期から中世所産の遺物を含むピット群と溝を検出した。これにより、枚方市域では茄子作遺跡が範囲拡大され、交野市域では平池遺跡が新規の遺跡として周知されることと

なった。

8. 寝屋東遺跡03-1・2 [調査]

寝屋東遺跡は寝屋川市寝屋のたち川右岸、北谷川左岸の段丘上に立地している。平成12年度から試掘確認調査、発掘調査が順次実施されている。今年度の調査地は14年度調査地の南側にあたる。調査地現況は緩やかな傾斜をもって南に高まる耕作地で、丘の頂上のさらに南側は急峻な崖面となっていたち川の河谷を形成する。調査では調査地北側で谷地形、南側で谷に傾斜する斜面が確認された。谷底部では貯水目的の施設と南側斜面で溝、土坑を検出した。出土遺物からいずれも飛鳥時代の遺構と確認している。一方、調査地北方の府道寝屋4号線の調査でも、飛鳥時代の総柱建物跡2棟が発見され、遺跡が寝屋の段丘上の広範囲な地区に立地分布する状況も明らかになった。

9. 寝屋南遺跡03-1 [調査]



調査区全景

大阪府寝屋川市寝屋に所在し、生駒山地の西側斜面から派生する丘陵上に立地する。丘陵平坦部の西側で、竪穴住居2棟と掘立柱建物5棟からなる集落跡を確認した。出土した遺物から7世紀中葉の遺構と考えられる。両遺構は南北に軸を揃えて整然と配置されており、建て替えを行った様子がみられないことから、7世紀中葉という一時期、短期間の集落であったことが窺える。

一方、丘陵斜面部は、確認調査で炭化物・焼土を含む層や溶着した須恵器が発見されたことから、付近に窯跡が存在する可能性を指摘されていた。しかし調査の結果、窯跡を示すような明確な遺構を確認することはできなかった。

10. 奥山遺跡03-1 [調査]



奥山1号墳全景

寝屋南遺跡の南西約400mの地点に位置する奥山1号墳を中心とした遺跡である。奥山1号墳はT.P.約50mの尾根上に立地する円墳で、規模は墳丘裾で約18m、周溝まで含めると約25mを測る。主体部は墳丘中央に築かれた横穴式石室で、西に開口する。石室は後世に天井部及び奥壁部を破壊され、側石の基底部が遺存するのみである。袖部に当たる箇所石材が抜き取られているが、その痕跡から右片袖式に復元できる。石室からは、須恵器・土師器の他、鉄鏃、刀子、鉄鉾、太刀の鏢、馬具な

どの鉄製品や、耳環11点、玉類、人骨などが出土した。周溝からは、石室からかき出されたと思われる土器が多数出土しており、これらの土器から、6世紀第4四半期から7世紀初頭の古墳であることが判明した。

11. 太秦遺跡03-1 [調査]

第二京阪道路（大阪北道路）建設に伴う調査である。寝屋川市国守町・打上に位置しており、丘陵上に立地している。弥生時代の集落跡と太秦古墳群として周知されていた。

今回の調査では、弥生時代中期の竪穴住居が39棟検出され、この地域における拠点集落であったことが明らかになった。直径約10mを測る大型の竪穴住居を含む。磨製石剣と勾玉が出土した。周溝墓も1基検出した。古墳時代中期の古墳が12基検出され、平成13年度調査と合わせ、25基を数えることになる。丘陵上に古墳群を形成していた。7～8世紀の掘立柱建物が12棟検出され、隣接する大尾遺跡と合わせ、集落を形成していた。



弥生時代中期竪穴住居

12. 大尾遺跡03-1 [調査]

大尾遺跡は寝屋川市国守町に所在し、生駒山地西麓から派生した丘陵部に位置する遺跡である。前回（平成13年度）の発掘調査地点は、今回の調査対象地の南西部に隣接する。遺跡は丘陵平坦部に立地するが、今回の対象地はその間に開析谷を挟む。

調査では弥生時代中期の竪穴住居1棟、古墳時代後期の竪穴住居1棟・土坑1基、古代の掘立柱建物16棟・柵2条・谷地形・土坑・整地土層、および鎌倉時代の溝などを検出した。弥生時代・古墳時代の竪穴住居の検出は当遺跡では初例であり、前回調査や東接する太秦遺跡との関連が注目される。古代の遺構出土遺物は極めて少ないが、7世紀後半から8世紀後半の時期幅を考えている。



丘陵上の古代の建物群

13. 讃良郡条里遺跡03-1 [調査]

この調査地は寝屋川市の南部に位置し、讃良川によって形成された扇状地上に立地している。縄文～江戸時代の遺構・遺物が確認され、特に、庄内式期に属す建物7棟や井戸などの検出が注目される。うち3棟の建物は周溝を伴う竪穴（あるいは平地式）住居で、本来は周溝の内側に堤を築いていたものと推測される。別の1棟には、竪穴内部にベッド状遺構が設けられていた。また、住居の周溝から延びる排水溝や、流路からの導水用に掘削された溝もあった。遺構の広がりからみて、今回の調査地は居住域の北辺部に当たっているとみられる。そのほかに、縄文時代の流路から中期の土器が多数出土し、下層確認トレンチでAT火山灰層が確認された。



周溝を伴う住居

14. 讃良郡条里遺跡03-2 [調査]



井戸（西から）

寝屋川市高宮・小路に所在する。第二京阪道路建設に伴う発掘調査である。主な遺構には、微高地上で検出した古代の掘立柱建物3棟、板材を蒸籠組みにした井戸1基と多数のピット、古墳時代に属するピット・土坑や、この微高地の縁辺に沿った流路がある。この流路からは、飛鳥・奈良時代～古墳時代の土器や馬の歯、埴輪など多様な遺物が出土している。

また、微高地上のピット内からは、緑色凝灰岩製の紡錘車が1点出土している。下層の縄文時代後期と考えら

れる土壌層中には注口土器片・石剣・石鏃・石錐とともにサヌカイトの剥片、碎片や小礫が集中する箇所があり、当該時代の石器製作跡の可能性が考えられる。

15. 讃良郡条里遺跡03-3 [調査]

調査地は寝屋川市楠根南町に所在する。中世から近世前期では水田・畑・島畠を検出した。畦畔や畝・耕作溝は東西・南北方向をとり、しばしば同じ場所に重複していることから、連続して耕作地として利用されていた状況が明らかになるとともに、調査地での条里制の施行時期を考察する手がかりが得られた。古代では掘立柱建物2棟のほか、多数の柱穴・溝・流路を検出した。土師器・須恵器などが出土した。東に隣接する讃良郡条里遺跡03-2とのつながりが注目できる。古墳時代では井戸・柱穴・土坑・溝などを検出した。井戸・土坑からは土師器がまとまって出土した。縄文時代では流路・土坑などを検出した。土坑の1基は赤褐色に焼けており、周辺からは炭化物とともに石器片が出土した。なお、下層確認トレンチではアカホヤ火山灰層を確認した。

16. 讃良郡条里遺跡03-4 [調査]

調査地は生駒山西麓の扇状地に位置し、弥生時代から近代まで洪水砂に被覆された旧地表面が良好に残存している。坪境や条里畦畔、島畠などの条里関連遺構のほか、古墳時代中期の溝、弥生時代中期の建物群と水田が確認された。条里地割については、平安時代後期以降の耕作面において坪境や畦が検出されている。条里以前、古墳時代では幅2～4mほどの溝を数条検出している。溝内からは布留式新段階の甕のほか、門受けのついた扉材や武器形木製品、馬の骨や水鳥形注口土器など祭祀行為を想起させるような遺物も出土しており、溝の性格も含めて検討が必要である。弥生時代中期にはわずかな高まりの上に掘立柱建物、竪穴住居が築かれており、その周囲の緩斜面を水田利用していた状況が確認された。

17. 讃良郡条里遺跡03-5 [調査]

讃良郡条里遺跡03-5調査区は讃良郡条里遺跡でも西寄りに位置し、現況の条里地割も変則的な形状をみせる範囲である。調査期間は3カ年で平成15年度には全体の約四分の一にあたる範囲を調査した。今回の調査範囲では現代以前に遡る条里遺構は全く確認されず、少なくとも近世までの条里地割が施行された可能性は低い。確認できた遺構面は古墳時代中期～後期の面と弥生時代の面で、古墳時代の遺構面では大規模な溝や、門受けをもつ扉材を転用した井戸などを検出した。溝からは須恵器、土師器、製

塩土器、韓式系土器、木製品、滑石玉類、馬歯、馬骨などが多量に投棄されており、近接地に集落の存在を推測させる。弥生時代の遺構面では数次にわたり造成された水田畦畔を確認した。

b 中部調査事務所

18. 淀川河床遺跡（その1）（確認）03-1 [調査・整理]

淀川河床遺跡は、淀川の河原に縄文や弥生時代の土器や石器、平安時代の瓦、中世の土師器や瓦器など様々な時代の遺物が散布する遺跡である。当遺跡の隣接地で高規格堤防が計画されたため、遺跡の広がりを確認するための調査を行った。その結果、中世後半から近世に至るまでの水田畦畔や畝溝、および人間や偶蹄類動物の足跡が検出された。

当調査地は淀川に穂谷川が流れ込む合流地周辺に当たり、耕作地として土地利用されてきた歴史を確認することができた。

19. 総持寺遺跡02-1・03-1 [調査・整理]

茨木市三島丘に所在する。前年度と同様、大阪府営茨木三島丘住宅（建て替え）建設工事に伴い、道路拡幅部分の調査を行った。

ピット、土坑、溝を検出し、掘立柱建物13棟、柱列2列を復元した。7～8世紀代の土師器、須恵器、製塩土器が出土している。なかでも16溝出土土器群は、良好な一括出土資料である。土師器杯C、須恵器杯H・杯Gを主体とする、7世紀中頃のものである。

整理作業は、前年度調査分とあわせて行った。平成16年度に報告書を刊行する予定である。

20. 禁野本町遺跡03-1 [調査]

調査地は枚方市禁野本町に所在する。近畿財務局の官舎の建設に先立ち、調査を行った。今回の調査では、奈良～平安時代の掘立柱建物・道路状遺構・溝などの遺構を確認した。溝の中から奈良時代の須恵器・土師器が出土した。また、時期は不明であるが、竪穴住居・土坑を確認した。出土遺物は奈良～平安時代の須恵器・土師器が中心であるが、掘立柱建物の柱穴から軒丸瓦が出土した。他には、弥生後期～庄内式併行期の土師器、古墳時代後期の埴輪・須恵器などが出土した。

さて、禁野本町一帯には明治29（1896）年から昭和20（1945）年まで旧日本陸軍の禁野火薬庫があった。禁野火薬庫では2度の爆発事故があったが、今回の調査では昭和14（1939）年の爆発事故を前後する建物と建物間を結ぶ軽便軌道跡を確認した。建物の周りには土塁が廻り、その基底部には石積みの溝が作られ、火薬庫内に水が入り込まない工夫が各所にみられた。

21. 蛭池遺跡02-1 [調査・整理]

本遺跡は豊中市蛭池中町に所在し、今回は都市計画道路蛭池西側線建設に伴って調査を実施した。調査地が待兼山丘陵南西部の小規模な谷地形内に位置しており、明瞭な遺構を検出することはできなかったが、古墳時代後期の埴輪片や奈良時代の平瓦などの遺物が出土した。

22. 勝部遺跡（4）[整理]・勝部東遺跡[整理]

勝部遺跡（その4）では昨年度実施した整理作業を受け、遺物などの収納、台帳作成、報告書の原稿

執筆、印刷・製本を実施した。

報告書では自然科学分析の結果として、猪名川流域における弥生時代を中心とした埋没微地形や植生環境について検討し、土層断面の軟エックス線撮影による検討結果も報告した。考古学的考察として、中世集落出土土器の検討、古墳時代集落と初期須恵器の検討、弥生時代後期末～古墳時代初頭土器群についての検討を行った。最終的にそれらをふまえた今回の調査における勝部遺跡の変遷を整理し、調査成果のまとめとした。

23. 大坂城跡03-1 [調査]



大坂城堀跡

今回の発掘調査は大阪府警察本部棟新築2期工事に先立つものである。調査は平成15年6月から開始し、平成16年3月に終了した。調査面積は3,896㎡である。

調査地は難波宮跡の北西部に位置し、調査区の北東部および北西部において、古代にまで遡る谷を検出している。北東部で検出した谷の南側では東西方向の掘立柱列を検出しており、難波宮の北辺を考える上で重要な位置を占めている。谷からは後期難波宮に対応する層から絵馬36点が出土し、さらに前期難波宮に対応する層からは

1,500点以上の漆容器が出土するなど成果をあげている。

また、調査地のほぼ全域から豊臣大坂城跡にかかわる巨大な堀を検出している。この堀は埋土の状況や出土した木簡などから、慶長19（1614）年の大坂冬の陣の講和直後に埋められたものであることが明らかとなった。堀の内側からは大坂冬の陣に備えて急造されたと考えられるトーチカ状の遺構も検出され、大坂冬の陣前後の緊迫した状況を垣間見ることが可能となった。

24. 岩田遺跡03-1 [調査]・岩田遺跡隣接地（確認）03-1 [調査]

岩田遺跡は、古代から中世の集落跡で、今回の調査区は遺跡の東南端に位置する。調査の結果、近世まで重層的に堆積する耕作土層と、13世紀の島畠や古墳時代後期頃の畦畔を検出した。生産域の範囲と下層遺構の有無を確認するため、さらに東側、近鉄若江岩田駅から花園駅間の事業地内3カ所に調査区を設定した。各地区で近世の河川や耕作土層を検出した他には、T.P.+0m付近で古墳時代後期と推定される土壌化層を確認したが、集落の存在を示唆するような遺構・遺物は出土しなかった。

25. 瓜生堂遺跡（地下河川）[整理]

東大阪市中央部に位置する当遺跡では、地下河川立坑建設に伴う平成14年度の発掘調査で奈良時代後葉～平安時代前半の建物群と、弥生時代中期後半の方形周溝墓が検出された。平成15年における遺物整理では、両者に伴う遺物群の実測図作成や報告書作成を行った。出土遺物の検討から、2基の方形周溝墓は、弥生中期後葉の極めて短期間に造営されたことが判明した。このことから、検出されたのは隣接する巨摩遺跡の方形周溝墓群と同一時期の墓群だったことが明確になり、巨摩遺跡から当遺跡南端部にかけて、弥生中期後葉には平面規模径100mを超える範囲に墓域が展開していたことがわかった。

26. 瓜生堂遺跡03－1〔調査・整理〕

東大阪市中心部に位置する当遺跡では、下水管渠建設に伴う平成15年度の発掘調査で、弥生時代中期後半の大溝が検出された。この大溝の両側には、その排土を盛土することによって、不整形なマウンドが形成されるという特異な状況であった。方形周溝墓の一部かとも考えられたが、埋葬主体・供献土器が一切みられないこと、大溝自体が、中規模溝が数回にわたって掘りなおされた結果形成されたとみられることから、墓域の可能性は低いと考えられる。出土土器は凹線文出現直後の段階に限定され、短期間に形成・埋没した遺構群と考えられる。盛土上面からは、完形の磨製石剣が出土し、何らかの祭祀行為が行われた可能性を示している。遺物整理後、報告書作成を平成15年度内に終えている。

27. 瓜生堂遺跡（近鉄）〔整理〕

昨年に引き続き、報告書作成作業を行った。実測・トレース・写真図版作成などに加えて、各種分析・考察をまとめ編集作業を行い、報告書を刊行した。

その結果、弥生時代前期前半期の段階で遺跡北東部に集落域・水田域が形成されていた事、中期も広範囲に集落域といくつかの小群となる墓域を形成していた事、後期には盛んな交易が行われていた事等の多くの所見を得た。土器資料の一部はAMS炭素測定により実年代を求めた。



方形周溝墓内出土土器

28. 池島・福万寺遺跡02－1〔調査〕

本調査は、治水緑地の建設に伴う池島Ⅰ期地区とⅡ期地区間の副越流堤部分の調査である。今年度の調査は、弥生時代後期～縄文時代後期にかけての各遺構面の調査を行い弥生時代後期・中期・前期末～中期初頭・前期後半の4面の遺構面を検出した。各時期とも水田畦畔が主に検出された生産域である。弥生時代後期の水田面は、遺存状況が悪かったが、中期以下の各面は分厚い氾濫堆積物に被覆されており、良好な状態で検出された。各面とも、微高地とそこに取り付く大畦畔・畦畔・水口などが検出されている。

生産域のため出土遺物は少ないが、弥生土器・縄文時代晩期の突帯文土器のほかイノシシ牙製装飾品なども出土している。

29. 池島・福万寺遺跡池島Ⅰ期地区〔整理〕

平成元年～平成13年度にかけて発掘調査された池島Ⅰ期地区の遺物整理である。

今年度は、下の層出土の遺物から整理することにし、縄文時代後期から弥生時代後期の土器を接合・実測・復元を行った。実測数864点、復元数101点である。

縄文時代の遺物として特記すべきものは、概報で元住吉山Ⅰ式とされている波状口縁で、沈線と刻目で飾られた深鉢と粗製の深鉢がセットで出土していることである。

弥生時代の遺物として特記すべきものは、最も量の多い後期土器の中で、特殊土器である手焙形土器（時期はⅥ様式期～庄内式期）が、破片も含めてであるが出土点数が多いことである。現在34点を数える。

30. 池島・福万寺遺跡02-4・5 [調査]



斜行する坪境水路（南より）

坪境の変遷、島畠の拡張、畦畔の踏襲等が明らかになった。なお、古代末～中世初頭では福万寺Ⅰ期南端検出の四ノ坪・九ノ坪間南北方向坪境水路が、九ノ坪・十ノ坪間坪境水路まで南南西方向に斜行する状況が明らかになった（写真）。この坪境水路からは木製品、獣骨等が出土している。

福万寺Ⅰ期・Ⅱ期地区間に位置する施設部の調査で、本体部02-4区と導水路02-5区の2カ所。平成14～16年度まで3カ年の2年目の調査で本格的な調査に着手した。

今年度は近代～古代末の条里地割各面の調査を行い、16面の遺構面を確認した。02-4区は河内郡字走九ノ坪・十ノ坪、02-5区は同三ノ坪・四ノ坪にあたり、それぞれの東西方向坪境が各面で検出された。他にも畦畔

や、中世後半～近世各面では加えて島畠も検出され、坪

31. 池島・福万寺遺跡02-6・7・8・03-2 [調査]



古墳時代前期の落込み 遺物出土状況

本調査は、池島Ⅱ期地区内の水路を改修し堤防の外側に切り替える工事に伴うものである。調査地は、堤防の東辺と南辺に沿って総延長約700mで実施した。

今回は、幅の狭い調査であったが、水路東南のコーナー付近で古墳時代の遺構・遺物を多く検出した。遺構は、土坑や溝・ピット・落込み等が検出され、遺物は古墳時代初頭の庄内式を中心とする甕・壺等が多く出土した。また、本来の形状は不明であるが土製鋳型の外枠と思われる遺物が出土している。

32. 池島・福万寺遺跡03-1 [調査]・池島Ⅰ期地区 [整理]

池島Ⅰ期地区の整理と、福万寺Ⅱ期地区の発掘調査を平成17年度まで行う。整理は、29. 池島・福万寺遺跡（8）からの継続である。発掘調査は、平成15年度は準備工を行った。福万寺地区南部域の調査の始まりであり、さらなる成果が期待される。

33. 山賀遺跡03-1 [調査]

八尾市新家町5丁目地内に計画された、寝屋川水系改良事業（一級河川寝屋川 新家調節池）に伴う調査である。弥生時代前期の環濠を想起させる多重の溝や、方形周溝墓が検出された、近畿自動車道建設に伴う調査地点の東約100mに位置する。面積2,846㎡、T.P.+ 0 m付近までの調査が予定されている。

34. 小阪合遺跡（2）[整理]

小阪合遺跡は、大阪府八尾市若草町ほかに位置する、弥生時代～中世の複合遺跡である。

当センター第2次調査の整理事業では、弥生時代中期以降の水田、古墳時代前期の流路と多量の土師

器、同中期の井戸・土坑・土器溜り・溝、奈良時代中頃～平安時代の掘立柱建物・溝・井戸・土坑・ピット・川などの遺構と、土師器・須恵器・黒色土器・瓦器などの遺物を報告した。また、花粉・珪藻・植物珪酸体の分析を委託し、考古学的な遺構検出状況との整合を図った。

なかでも古墳時代初頭の小阪合分流路跡から出土した外来系を含む多量の土師器や、平安時代の各種遺構・一括遺物は、中河内地域の当該期の動向を考える上で重要な資料となった。

35. 久宝寺遺跡（水環境）〔調査・整理〕

八尾市竜華町（旧亀井）に所在する。寝屋川流域下水道竜華水環境保全センター水処理施設等建設に伴い、平成13年度から延べ約24,400㎡の発掘調査を行った。現地調査では縄文時代晩期から近世に至る約25面の良好な遺構面を検出した。平成15年度の調査では、しがらみを検出した古墳時代前期面や昨年度に引き続き20基以上の墳墓を検出した古墳時代初頭面、調査区のほぼ全域に水田の広がる弥生時代中～後期面等が注目される。特に古墳時代初頭面では周辺で2例目となる前方後方墳を確認



絵画土器 左：手あぶり形・右：壺

し、全体としては60基以上の墳墓から構成されることが判明した。また、絵画や模様を施した手あぶり形土器や壺、赤色顔料の付着する石杵や石皿も出土している。これらの墳墓を埋める土砂を供給した流路から、複数のしがらみを検出した。この流路からは、しがらみに転用された桁や建築部材などが出土した。この他にも、特殊なさしば翳形木製品、船の舳先や櫂など、多種多様な木製品が出土している。

発掘調査は平成15年10月までに終了し、現在は中部調査事務所において整理作業を行っている。

36. 久宝寺遺跡（防火水槽）〔調査・整理〕

大阪竜華都市拠点土地区画整理事業の一環として計画された、駅前広場防火水槽設置工事に伴う発掘調査である。平成15年3月から4月まで現地調査を行い、弥生時代前期から中世まで計8枚の遺構面を検出した。なかでも第5面の水田は保存状態が良好で、畦畔盛土からは弥生時代後期の甕1個体がほぼ完形で出土した。今回調査地の西側微高地とその縁辺からも、弥生時代中期から後期の水田や水路が検出されており、当該期には、かなり広範囲に水田が広がっている事が明らかになった。調査終了後引き続き整理事業を行い、平成14年9月に「久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書Ⅳ」を刊行した。

37. 久宝寺遺跡（東西線）〔整理〕

八尾市に所在する久宝寺遺跡（竜華東西線）の発掘調査報告書整理業務である。この調査では、弥生時代前期から中世に至る各時代の遺構が検出された。中心的な遺構は、ほぼ全域で検出された古墳時代初頭（庄内式）～前期（布留式古段階）の集落跡である。集落は2条の主要水利系統を軸に、居住域、生産域で構成され、墓域の一部として方形周溝墓も検出されている。井戸内から出土した多量の土器群は、庄内式古段階に属する一括性の高い資料であり、庄内式の開始期における土器の動態に、新たな知見をもたらすものとして注目されよう。また調査地の西端で、墨書のある櫃を井戸枠に転用した奈良時代の井戸が検出された。これまで周辺調査区を含め奈良時代の遺構は稀薄であったが、調査区周辺にお

いて、当該時期に属する何らかの重要施設が存在したことを窺わせる。各時代の集落景観を復原する上で重要な成果が得られた。

c 南部調査事務所

38. 東大阪市南西部遺跡群（確認）03－1〔調査〕

大阪外環状線（東大阪市）連続立体交差事業に伴う確認調査であり、近畿日本鉄道大阪線（俊徳道駅）以南の東大阪市域に、合計9カ所の調査トレンチを設定した。4層の黒色土層は、上層から順に古墳時代中期・弥生時代後期・弥生時代中期・縄文時代後期末～晩期初頭の4時期が相当すると考えられる。6トレンチでは弥生時代（中期）相当層から、8トレンチでは弥生時代（後期）相当層から、比較的集中して土器の出土が認められた。調査の結果、新規発見の弓削ノ庄遺跡・亀田遺跡として周知された。

39. 松原市内遺跡群（確認）03－1〔調査〕

今回の調査地は、阪神高速大和川線（松原市域）、および一部併設して一般府道住吉八尾線が東西に走行する計画路線内である。東は国道309号線に接する松原市三宅西地区から西は府道大阪狭山線に至る松原市天美西地区までの松原市域（延長約2km）に確認トレンチを設定し、調査を実施した。

調査の結果、特に、城連寺地区において弥生時代前期の遺物を伴う土坑・溝をはじめ、弥生時代後期から古墳時代中期の集落、古代・中世の集落の一端を示す資料、また、当時の水田開発の痕跡を知る遺構・遺物などの新知見を得ることができた。また、東側の三宅地区から城連寺地区の広範囲で、弥生時代中期以前の可能性を示す水田遺構をも検出している。

40. 八尾南遺跡02－2〔調査〕



弥生時代後期竪穴住居

八尾市若林町に所在する。平成14年度から実施している大和川改修事業に伴う発掘調査で、今年度は事業区域の北東部4,763㎡を対象とした。

第1面では12世紀前半の掘立柱建物や土壇墓・井戸などが検出され、当該期の土地利用の一端を明らかにすることができた。前年度に古墳時代初頭の方形周溝墓群が確認された第2面では、前方後方形2基を含む18基の墓が検出され、30基以上の周溝墓から構成される一大墓域であることが判明した。

弥生時代後期前半の第3面では、調査区中央を南北に流れる河川を挟んで東西2つの居住域が確認され、竪穴住居4棟、井戸2基が検出された。竪穴住居はいずれも平面隅丸長方形を呈するもので、小型の1棟を除く3棟には周堤が備わり、河川に近い2棟にはその外周に土坑が巡らされていた。さらにベース面である第3b面では、竪穴住居の周囲で総数19棟の掘立柱建物が検出された。これらの建物には重複関係は認められないが、位置関係や柱穴埋土の差異から一定の時間幅を考慮する必要がある。

調査最終面である第4面では、調査区東半で弥生時代前期の小区画水田が良好な状態で検出された。

41. 船橋遺跡02－3〔調査・整理〕

国土交通省の大和川高規格堤防建設に伴うもので、現大和川右岸、遺跡の中央から北東寄りの地点にあたる。去年度の調査で確認された飛鳥時代のガラス小玉工房がさらに南に広がる事が判明し、弥生時代後期に関しても、井戸1基の他、飛鳥時代の溝から、完形に近い物を含め土器が多量に出土した。新たに検出された遺構で注目されるのは、弥生時代後期の方形周溝墓である。かなり小型のものではあるが、集落の南に、墓域が隣接していた可能性がある。



4面 方形周溝墓

飛鳥時代の遺物としては、ガラス小玉鑄型・轆の羽口・椀形鉄滓の他、櫛・T字形に穿孔した木製玉・糸巻きの杵木などが注目できる。また、土器では竈と羽釜のみが生駒西麓産胎土なのが目を引く。

42. 船橋遺跡02－3他〔整理〕・八尾南遺跡03－1〔調査〕

船橋遺跡の整理と、八尾南遺跡の発掘調査を平成16年度まで行う。船橋遺跡は、平成11年度から15年度までの調査に対する資料を整理し、検証した。八尾南遺跡の発掘調査は、平成15年度は準備工を行った。既往の調査から鑑み、古墳時代の方形周溝墓や弥生時代の集落跡等が検出されると期待される。

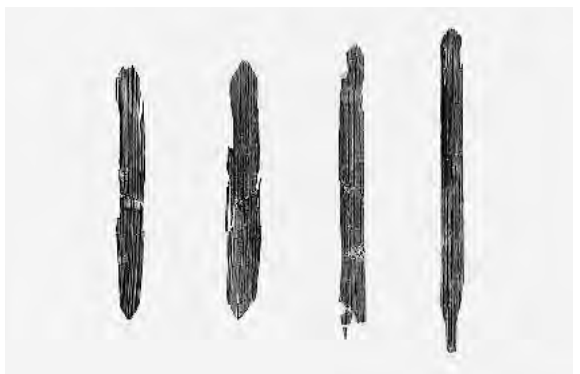
43. はざみ山遺跡〔調査・整理〕

昨年度からの継続事業として調査を進め、11月を以て現地での作業を完了した。本年度の調査面積は8,200㎡強で、総調査面積は12,200㎡余となった。

検出された遺構は、飛鳥時代を中心とする掘立柱建物・竪穴住居・井戸などで、特に掘立柱建物は昨年度から陸続と検出され続け、総数86棟に達した。

このような成果を受け、6月7日には別記するような現地説明会を行い、多数の参加者を得た。

出土遺物はコンテナにして270箱分で、土器を中心に石・木・金属製品と多彩である。中でも飛鳥時代のものでは、巻頭図版の土器群と伴に出土した上掲の斎串や船形木製品などは、後の律令期祭祀具に通ずる点で刮目される。また、竪穴住居出土の獣脚円面硯を含む5点以上もの陶硯や土製仮面も、遺構群の性格を推察する上で極めて示唆的といえよう。



井戸出土 斎串

44. 尺土遺跡02－1〔調査・整理〕

尺度遺跡は羽曳野市尺度に所在する、古墳時代初頭を中心とする集落跡である。南阪奈道路建設に伴って平成8年から調査が行われており、掘立柱建物と方形区画、周囲に溝を巡らす竪穴住居、畑、井戸などが検出され、特に方形区画をもつことから首長居館として注目された。

今回の調査区は、国道170号線西側に接して南北に細長く設定された。調査では、既往の調査同様、掘立柱建物、竪穴住居、溝、小杭列、畑と考えられる小溝群、井戸などを検出した。結果、これまでの

調査で集落の南端と推定されていたより更に南側に、当該期の遺構の広がりを確認することができた。その他に、弥生時代中期の土坑を検出した。

45. 史跡池上曾根遺跡03-1 [調査]

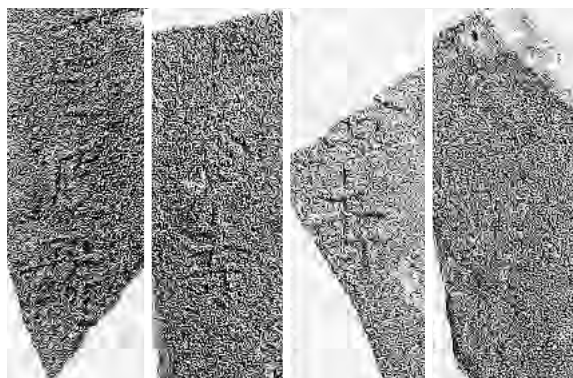
本年度事業は、第1期整備事業に継続して行われる第2期以後の整備事業計画を立案するための事前調査である。調査そのものは、平成13年度より継続して行われており、その3年次目となる。

今次の調査地区は、史跡池上曾根遺跡の集落の中心部北東側で、周囲より一段高い地形で周辺部の条里型地割の影響が及んでいない高まり地形の範囲と、北側の既往の調査で確認されている弥生集落を取り囲む環濠の方向性を示す位置に設定した。結果、高まり地形に設けた調査地区では、「大形建物1」と同時期と判断できた遺構面から数多くの柱穴・土坑・焼土遺構などを検出した。一方、低い範囲に設けた北側の調査地区では、弥生時代の集落を取り囲む中期前葉と後葉の環濠を3条確認した。また、調査地の一部では弥生時代前期の生活の痕跡を確認することもできた。

46. 大西遺跡 [調査]

発掘調査は概ね前年度で終了し、15年度は現地調査の残務処理を4月末まで、出土遺物の基本整理及び作成資料の検証を5月末まで実施した。

47. 湊遺跡・上町東遺跡・若宮遺跡・大西遺跡 [整理]



「檀波羅密寺」と刻印された文字瓦

佐野川が形成する開析谷および佐野川と檜井川の間にある低位段丘上面を、4遺跡に跨って調査した。

湊遺跡では、谷の中から弥生時代後半～古墳時代初頭の製塩土器が出土した。段丘平坦面にある上町東遺跡では、13世紀前半の区画溝に囲まれた掘立柱建物や、白磁碗を副葬する屋敷墓を検出。若宮遺跡では、「檀波羅密寺」と刻印された平瓦をはじめ、大量の瓦が焼土や炭とともに廃棄された、14世紀後半の区画溝を検出した。平安時代末に建立され、応永6（1339）年の応永の乱で兵

火にあったと伝えられる檀波羅密寺と関係のある遺構と考えられる。

48. 男里遺跡03-1・2 [調査]・男里遺跡(10) [整理]

発掘調査は、本線の道路部分（北調査区）と、道路予定地中央部に残る未調査部分（南調査区）に分かれる。南調査区は、従来から調査されていた弥生時代中期末の集落の範囲内であり、竪穴住居やピット群などの広がりを確認することができた。竪穴住居は4棟分のまとまりを検出したが、隣接地点で一部が検出されていたものを確認したのみである。全体に遺物量は少ない。北調査区では、奈良時代初頭の掘立柱建物群と土坑群が検出され、良好な一括遺物が出土した。柱穴には、掘方が方形と円形の2種類がみられ、建物の時期差を表している。整理作業は、平成13・14年度調査で出土した遺物の洗浄、注記、台帳作成と、報告書作成に向けた遺物実測などの準備作業を行った。

(3) 保存処理事業

1. 高石市教育委員会保管民具類の調査

平成15年度は民具類の保存状況調査を実施した。調査した民具類は数十点あり、劣化防止のための保存科学的処理を実施要求した。今後高石市教育委員会が保管されている民具類の科学的調査を実施し、保管状況の把握と劣化すると判断した貴重な民具類に対して、彩色部分の剥離止めや劣化防止を要望した。

2. 平成15年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連（北群）	大型木製品	PEG処理	37点
近畿道関連（南群）	大型木製品	PEG処理	292点
大坂城跡	木製品	PEG-FD処理	19,385点
池島・福万寺遺跡	木製品	PEG-FD処理	288点
総持寺遺跡	木製品	PEG-FD処理	78点
玉櫛遺跡	木製品	PEG-FD処理	658点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD処理	20点
溝咋遺跡	木製品	PEG-FD処理	18点
粟生間谷遺跡	木製品	PEG-FD処理	11点
真福寺遺跡	大型木製品	PEG-FD処理	1点
はざみ山遺跡	大型木製品	PEG-FD処理	12点
尺度遺跡	木製品	PEG-FD処理	13点
小阪合遺跡	木製品	PEG-FD処理	15点
瓜生堂遺跡	木製品	PEG-FD処理	23点
久宝寺遺跡	木製品	PEG-FD処理	160点
讃良郡条里遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ20箱
小路遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ2箱
池島・福万寺遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	鉄製品172点
瓜生堂遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ15箱
久宝寺遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ20箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 100点

P E G：ポリエチレングリコール F D：真空凍結乾燥を示す。

(4) 現地説明会等

平成15年度の現地説明会・現地見学会等は次のとおり実施した。

	実 施 日	遺 跡 名	参加者数	備 考
1	平成15年 5 月24日 (土)	久宝寺遺跡	107名	現地公開
2	平成15年 6 月 7 日 (土)	はざみ山遺跡	456名	現地説明会
3	平成15年10月 4 日 (土)	太秦遺跡 (太秦古墳群) ・ 讃良郡条里遺跡	271名	現地公開
4	平成15年10月11日 (土)	船橋遺跡	102名	現地公開
5	平成15年11月 6 日 (木)	八尾南遺跡	22名	研究者対象
6	平成15年11月22日 (土)	史跡池上曾根遺跡	123名	現地公開
7	平成15年12月 6 日 (土)	上私部遺跡・有池遺跡	238名	現地公開
8	平成15年12月13日 (土)	大坂城跡	2,350名	現地説明会
9	平成16年 1 月24日 (土)	八尾南遺跡	667名	現地説明会
10	平成16年 1 月31日 (土)	太秦遺跡 (太秦古墳群) ・ 奥山遺跡	472名	現地公開
11	平成16年 2 月21日 (土)	難波宮跡	1,350名	現地説明会
12	平成16年 3 月13日 (土)	池島・福万寺遺跡	178名	調査成果展示会
13	平成16年 3 月27日 (土)	禁野本町遺跡	156名	現地説明会

1. はざみ山遺跡現地説明会

はざみ山遺跡発掘調査は藤井寺市藤井寺公団1番地内の公団藤井寺団地建て替え事業に伴い、平成14年9月から実施してきた。調査により飛鳥時代の86棟の掘立柱建物群や溝・井戸など多数の遺構が検出された。特に調査地南部分においては大型掘立柱建物をはじめとする40棟余りの掘立柱建物が集中した。このような成果を公開するため、大型掘立柱建物を中心とした区域を対象とし、平成15年6月7日に現地説明会を実施した。

当日は説明会開始直前に雷雨に見舞われたため、一時は開催も危ぶまれたが一部見学順路を変更して行った。又遺構見学と共に出土した遺物の展示を行った。それらの中では井戸枠に再利用された準構造船に注目が集まり、熱心な質問が飛び交った。参加人数は457名、この内地元である藤井寺市内在住者が215名にのぼり近隣での関心の高さが窺えた。調査地である公団住宅に居住されていた方も多く、住まいの下にこのような多くの遺構や遺物が埋まっていたことに驚かれていた。

2. 大坂城跡現地説明会

平成15年12月13日、大阪府警察本部棟新築工事に伴う発掘調査で検出した豊臣期の大坂城跡の堀を対象として現地説明会を開催した。

この堀は大坂城二の丸に設けられた大手口を逆コの字状に囲むものであり、調査の結果、大坂冬の陣直後に埋め戻されたことが明らかとなった。これまでの豊臣期大坂城跡の調査でも断片的に堀が検出されることはあったが、これほど広範にわたって堀が検出されることはなかった。また、今回の調査で検出した堀は、三の丸をめぐる諸問題とも関わってきわめて重要な調査成果であることから、広く一般に供することとなった。

当日は2,000人を超える非常に多くの見学者が現地を訪れ、大坂城跡の堀や金箔瓦などを熱心に見学し

ていた。見学者数もさることながら、北は青森県、南は長崎県からの見学者があり、豊臣秀吉の大坂城に対する関心の高さをも知るところとなった。

3. 八尾南遺跡現地説明会

国土交通省の大和川改修事業に伴う発掘調査を実施している八尾南遺跡では、平成15年度調査において弥生時代後期前半の集落を非常に良好な状態で検出した。集落は調査区中央を南北に流れる河川を挟む東西2つの居住域から構成され、東側では竪穴住居2棟と水路、西側では竪穴住居6棟（うち4棟は前年度検出）・井戸2基が確認された。竪穴住居は小型の1棟を除いた7棟で周堤が遺存し、周堤上端から床面までの深さが1m近くに達する住居も存在した。そこで、当地域においてもこれまで例を見ない集落景観を多くの人に見てもらうため、平成16年1月24日（土）に現地説明会を開催した。

説明会では、住居の規模や位置関係を体感してもらうため、住居間を繋ぐように全域に導線を設け、各所に配置した職員が説明を行った。また、展示コーナーでは、住居周囲から出土した龍の絵画土器などの遺物を見学に供した。寒風吹きすさぶ厳寒の日であったが、中国・東海地方などの遠来の方を含む667名が参加され、周堤を持った住居や現地に出土した状態のまま残した遺物を熱心に見学されていた。

4. 難波宮跡現地説明会

平成16年2月21日、大阪府警察本部棟新築工事に伴う発掘調査で検出した古代の谷、掘立柱列、谷から出土した絵馬や漆壺などを対象として現地説明会を開催した。

今回の調査では調査地の北西と北東の2箇所で古代の谷を検出し、このうちの北東の谷からは30点を超える絵馬などの祭祀遺物が出土し、その下層からは漆を運搬した際の容器が多量に出土した。前者は後期難波宮段階における祭祀の様相を知る上で、後者は前期難波宮段階における漆の貢納と関わってきわめて重要な意味をもつものである。また、谷の南側で検出した掘立柱列は難波宮跡の北辺を考える上で重要な位置を占めており、広く一般に供することとなった。

当日は1,300人を超える多くの見学者が現地を訪れ、地下8mから掘り出された古代の谷や柱がそのままの状態に残る掘立柱列などを熱心に見学していた。また、当日は出土した主要な絵馬を展示したが、こちらも終始、長い列が途絶えることはなかった。

5. 禁野本町遺跡現地説明会

3月27日（土）午後1時から、枚方市禁野本町遺跡において旧日本陸軍禁野火薬庫跡の現地説明会を実施した。今回の説明会は、調査の過程で検出した同火薬庫跡の一部が昭和14（1939）年3月1日に起きた大爆発の様子を留めていることから、地元枚方市よりその成果を広く公開してほしいとの要望に沿ったものである。百数十名の参加者は、発掘現場あるいは出土遺物、さらには枚方市から提供された爆発当時の写真を熱心に見学されたが、中には当時の様子を語って下さったご年配の方々もおられ、非常に有意義なものとなった。



現地説明会風景

6. 池島・福万寺遺跡成果展

平成16年3月13日土曜日、池島分室では「クローズアップ！池島・福万寺遺跡の古墳時代」と題し、東大阪市池島町公民館を会場に、池島・福万寺遺跡出土品の展示会を行った。当遺跡は、弥生時代前期以降現代に至る、各時代の生産に関連する資料が得られることで著名である。その中で、古墳時代はムラが見つかり、他の時期に比べ比較的多くの遺物も出土している点でやや特異な時期である。福万寺Ⅰ期地区では中・後期のムラが見つかり、その成果は諸氏により研究が深められている。一方池島Ⅰ期地区の調査では、初頭前後のムラが見つかり、現在調査成果の整理が進められている。展示会は、これらの諸成果をもとに、1. 池島・福万寺遺跡の調査成果概要、2. 最新の成果として鋳型の展示、3. 古墳時代土器の時系列的展示、4. 鏡片・銅鏃・玉類など特異な遺物の展示、5. 他地域系土器の展示をテーマとした。また、過去に行った現地説明会などのビデオも常時放映した。遺跡に近接した公民館での露出展示ということもあり、来場者の多くは地元の方々であった。博物館での展示ではガラスケース越しになるが、今回は調査担当者を前に、遺物に近寄って見学できた点が好評だったようである。

4. 普及啓発事業

(1) 文化財講座

平成15年度は、会場の都合により前期・後期と分けて実施した。前期講座は、大阪府中小企業文化会館を会場として、後期講座は、エル・おおさか南館南1023号室を会場として、下記のとおり実施した。

前期文化財講座

全体テーマ：『古墳時代の鏡』

(聴講者延べ人数920人、平均184人)

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	5月15日(水)	『鏡の世界—古代の中国と日本—』 岡村 秀典氏(京都大学人文科学研究所助教授)	201名
2	6月19日(水)	『三角縁神獣鏡製作地論争の現状と展望』 福永 伸哉氏(大阪大学大学院文学研究科助教授)	195名
3	7月17日(水)	『三角縁神獣鏡とヤマト王権』 岸本 直文氏(大阪市立大学文学部助教授)	185名
4	8月21日(水)	『弥生後期の鏡を掘る—北部九州の様相—』 藤丸 詔八郎氏(北九州市立自然史・歴史博物館特別研究員)	172名
5	9月18日(水)	『鏡の文様の図像学』 曾布川 寛氏(京都大学人文科学研究所教授)	167名
		合 計	920名

後期文化財講座

全体テーマ：『古墳のはじまりを考える』

(聴講者延べ人数884人、平均177人)

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	11月20日 (木)	『ヤマト王権の成立』 山尾 幸久氏 (立命館大学名誉教授)	191名
2	12月18日 (木)	『古墳の出現』 森下 章司氏 (大手前大学人文科学部講師)	186名
3	1月15日 (木)	『朝鮮半島の墳墓と日本列島の古墳』 吉井 秀夫氏 (京都大学大学院文学研究科助教授)	180名
4	2月19日 (木)	『新しい年代論と新たなパラダイム』 森岡 秀人氏 (芦屋市教育委員会文化財課係長)	162名
5	3月18日 (木)	『王権の成立と王墓の築造』 金関 恕氏 (大阪府立弥生文化博物館館長)	165名
合 計			884名

(2) 郷土の文化財を見学する会

平成15年度は下記のとおり実施した。

(参加延べ人数764人 平均76人)

実施日	見学先 見学内容	講 師	参加者
4月20日 日曜日	第1回例会(第303回) 泉南地域の文化財探訪(1) 久米田古墳群、摩湯山古墳と古代の八木郷、山直郷を歩く 小松里廃寺、久米田古墳群、久米田寺、摩湯山古墳、 馬子塚古墳、箕土路遺跡、下池田遺跡ほか	岡本 圭司	50名
5月11日 日曜日	第2回例会(第304回) 泉北地域の文化財探訪(1) 中世・近世の堺をめぐる 旧鉄砲鍛冶屋敷跡、山口家住宅、堺刃物会館、菅原神社、 開口神社、宿院頓宮、千利休屋敷跡ほか	森村 健一 氏 ほか	50名
6月22日 日曜日	第3回例会(第305回) 河内地域の文化財探訪(1) 高安古墳群、楽音寺・大竹古墳群と周辺の遺跡 高安千塚古墳群、八尾市立歴史民俗資料館、愛宕塚古墳、 向山古墳、心合寺山古墳、鏡塚古墳ほか	棚橋 利光 氏 ほか	98名

7月13日 日曜日	第4回例会（第306回） 河内地域の文化財探訪（2） 長尾から津田へ、山根街道沿いの史跡を巡る 正俊寺、菅原神社、伝王仁墓、枚方市立旧田中家鋳物民俗資料館、津田春日神社、津田城遺跡ほか	三宅 俊隆 氏	85名
9月14日 日曜日	第5回例会（第307回） 河内地域の文化財探訪（3） 古市古墳群南群（古墳時代後期）の古墳と飛鳥時代の寺院・墓 葛井寺、アイセルシュラホール、岡ミサンザイ古墳、野中寺、峯が塚古墳、来目皇子墓、西琳寺ほか	上田 睦 氏	83名
10月12日 日曜日	第6回例会（第308回） 摂津地域の文化財探訪（1） 高槻城跡から今城塚古墳へ、北摂、山陽道周辺の史跡を巡る 高槻市立しろあと歴史館、高槻城跡、昼神車塚古墳、霊松寺、教宗寺、嶋上郡衙跡、芥川廃寺、狐塚古墳群、今城塚古墳ほか	高橋 公一 氏 ほか	81名
11月6日 日曜日	第7回例会（第309回） 河内地域の文化財探訪（4） 黒姫山古墳と河内鋳物師の郷を巡る 萩原天神、日置荘遺跡、余部遺跡、黒姫山古墳、M・Cみはら、西福寺、大保の不動明王、広国神社、法雲寺、平松寺、城岸寺ほか	泉谷 博幸 氏 ほか	60名
12月6日 土曜日	第8回例会（第310回） 吉備地域の文化財探訪〔バスツアー〕 岡山、吉備路の遺跡を巡る 作山古墳、江崎古墳、備中国分寺跡、こうもり塚古墳、備中国分尼寺跡、岡山県立吉備路郷土館、造山古墳、楯築墳 丘墓、吉備津神社ほか	村上 幸雄 氏	90名
1月10日 土曜日	第9回例会（第311回） 摂津地域の文化財探訪（2） 西摂、尼崎城下と弥生時代の集落、田能遺跡周辺を歩く 尼崎寺町、尼信博物館（尼信会館）、尼崎城跡、金楽寺貝塚、猪名庄遺跡、南清水古墳、大塚山古墳、猪名寺廃寺、田能遺跡・同資料館ほか	中村 光夫 氏 ほか	74名
2月8日 日曜日	第10回例会（第312回） 難波地域の文化財探訪（1） 近世大坂のまちづくりを歩く 御津八幡宮、道頓堀、住友銅吹所跡、高津宮、生玉神社、寺町、大江神社、清水寺、安井神社、一心寺、四天王寺 境内ほか	八木 滋 氏	93名

(3) 小テーマ展示「シリーズ ここまでわかった考古学」

1. 「シリーズ ここまでわかった考古学」

1. 考古学と実年代—考古学が歴史を変える—

2. 最古の土師器—庄内式土器の誕生—

大阪府立弥生文化博物館と共催で実施した。

会期 平成16年 3月13日（土）～3月28日（日）

（博物館休館日を除く14日間）

会場 大阪府立弥生文化博物館特別展示室

入館者総数 1,235名

会期中の行事

会場 大阪府立弥生文化博物館 1階ホール

時間 午後2時～4時

鼎 談

3月14日（日）

演 題 「考古学と実年代—年代を測る方法—」

講 師 光谷 拓実氏（奈良文化財研究所古環境研究室長）

森岡 秀人氏（芦屋市教育委員会文化財課係長）

江浦 洋（（財）大阪府文化財センター班長）

参加者 170人

研究発表会

3月21日（日）

発表内容と発表者

「最古の土師器」 西村 歩（（財）大阪府文化財センター技師）

「庄内式甕の誕生」 杉本 厚典（（財）大阪府文化財センター技師）

参加者 170人

2. 「シリーズ ここまでわかった考古学」

甕形土器の語るもの

日本民家集落博物館と共催で実施した。

会期 平成16年 3月20日（土）～4月4日（日）

（博物館休館日を除く14日間）

会場 日本民家集落博物館内カルチャはっとり

入館者総数 2,990名（民家博全体の会期内入館者数）

会期中の行事

会場 カルチャはっとり

時間 午後2時～4時

講演と研究発表会

3月28日（日）

講演

「竈形土器とまじなひ」水野正好（（財）大阪府文化財センター理事長）

研究発表

「竈形土器とくらし」 合田幸美（（財）大阪府文化財センター主任技師）

参加者 46人

（４）日本民家集落博物館等との共催行事

１．日本民家集落博物館とのミニ講座

博物館内のカルチュアはっとりを会場として、下記のとおり実施した。

全体テーマ 「伝統芸能ミニ講座」

（聴講者延べ人数75人、平均19人）

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	2月15日（日）	農村歌舞伎つずうらうらー復活！37年ぶりの葛畑農村歌舞伎ー 羽田 昇氏（写真家、OFFICE羽田代表）	10人
2	2月22日（日）	埴輪に見る芸能 水野正好氏（（財）大阪府文化財センター理事長・奈良大学教授）	23人
3	2月29日（日）	農耕具と祭祀 ―豊中のことほぎ― 中村ひさ子氏（豊中市教育委員会生涯学習部地域教育振興課）	19人
4	3月7日（日）	椎葉神楽と民俗 ―落人伝説椎葉の男は平家か源氏か― 永松 敦氏（椎葉民俗芸能博物館副館長）	23人

２．池上曽根史跡公園協会とのミニ講座

池上曽根弥生学習館を会場として、下記のとおり実施した。

全体テーマ 「フォーラム匠の世界 ―日本の伝統技術は今― 」

（聴講者延べ人数475人、平均119人）

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	6月22日（日）	瓦を語る ―鬼瓦の変遷など― 小林章男氏（鬼師、国の選定保存技術保持者） 森 郁夫氏（帝塚山大学教授・考古学研究所長）	65人
2	7月6日（日）	穴太衆とその心 栗田純司氏（穴太衆第14代石匠） 小田靖弘氏（都市計画家）	130人
3	7月13日（日）	発掘建物の屋根 石野博信氏（徳島文理大学教授・二上山博物館長） 草葺きを探ねて 隅田隆蔵氏（茅葺師、国の選定技術保持者）	93人
4	7月27日（日）	古代の伝統建築について ―木と釘を語る― 小川三夫氏（宮大工棟梁） 白鷹幸伯氏（鍛冶）	187人

3. 日本民家集落博物館との共同企画によるバスツアーと写真パネル展

実施日 平成15年11月23日

見学先 柳田国男生家、古井家住宅（兵庫県安富町）、平福街並（佐用郡）、箱木家住宅（神戸市）

参加者 29名

なお、参加者が撮影した写真をパネルにし、2月4日～2月15日の間、日本民家集落博物館内南部の曲家で展示会を実施した。

4. 池上曽根史跡公園協会との共同企画によるバスツアーと写真パネル展

実施日 平成15年12月2～3日

見学先 広島県立みよし風土記の丘、広島県立歴史民俗資料館、島根県吉田村鉄の歴史博物館、出雲大社、出雲市西谷墳墓群、今市大念寺古墳、斐川町荒神谷遺跡、加茂町加茂岩倉遺跡

参加者 42名

なおツアー実施に先だち、池上曽根弥生学習館において事前学習会を行い、また参加者が撮影した写真をパネルにして、1月14日～2月1日の間、同館で展示会を実施した。

5. 「民家集落ふるさとだより」の編集と発行

日本民家集落博物館との分担で、No.22とNo.23を編集、発行した。

（5）インターネット・ホームページによるイベント情報等の公開

当センターのホームページを立ち上げ、調査やイベント、出版等に関する情報を公開した。

URL <http://www.occh.or.jp>

(6) 文化庁主催「公開普及事業」に協力

文化庁が主催し、全国埋蔵文化財法人連絡協議会・全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会が共催して実施している埋蔵文化財公開普及事業「発掘された日本列島2003（新発見考古速報展）」の運営に、当センターが実行委員会事務局として参加して、展示品の集荷・検収・返却の実務と経理面での実務を担当した。また、当年度は当センターで調査した讃良郡条里遺跡の古代の祭祀関連遺物を出展した。

(7) 映画の制作

久宝寺遺跡で調査した墳墓を題材とした、3カ年計画による映画の2年目の撮影を行った。また第2京阪道路関係の調査についても撮影を行った。

(8) 図書の出版

1. 出版した図書

- (1) 大尾遺跡
- (2) 駒ヶ谷遺跡Ⅲ
- (3) 池島・福万寺遺跡発掘調査概要31
- (4) 杉遺跡
- (5) 讃良郡条里遺跡（その1）
- (6) 讃良郡条里遺跡（その2）
- (7) 讃良郡条里遺跡（その3）
- (8) 尺度遺跡Ⅱ
- (9) 尺度遺跡Ⅲ
- (10) 太秦古墳群
- (11) 栗生間谷遺跡 古代・中世編
- (12) 新上小阪遺跡
- (13) 久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書Ⅳ
- (14) 久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書Ⅴ
- (15) 勝部遺跡
- (16) 門真西地区、讃良郡条里遺跡西地区、讃良郡条里遺跡、大尾遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群、打上遺跡、寝屋南遺跡、寝屋東遺跡、私部南遺跡、東倉治遺跡、津田城遺跡東地区
- (17) 蛭池遺跡02-1
- (18) 淀川河床遺跡（その1）（確認03-1）
- (19) 讃良郡条里遺跡、寝屋南遺跡、寝屋東遺跡、倉治遺跡、津田城遺跡
- (20) 小路遺跡（その3）
- (21) 湊遺跡他Ⅱ
- (22) 高宮遺跡（遺構編）
- (23) 高宮遺跡（その2）
- (24) 瓜生堂遺跡1
- (25) 瓜生堂遺跡2

- (26) 瓜生堂遺跡 3
- (27) 小阪合遺跡 (その 2)
- (28) 平成15年度 前期文化財講座資料集
- (29) 平成15年度 後期文化財講座資料集
- (30) 大阪府埋蔵文化財研究会 (第47回) 資料
- (31) 大阪府埋蔵文化財研究会 (第48回) 資料
- (32) 2002年度大阪府文化財センター・日本民家集落博物館・大阪府立弥生文化博物館・大阪府立近
つ飛鳥博物館共同研究成果報告書
- (33) 平成15年度大阪府文化財センター・近つ飛鳥博物館共同研究発表会
『墳墓と墓誌』
- (34) 平成15年度大阪府文化財センター・弥生文化博物館共同研究発表会
『北の文化 ―続縄文の世界―』
- (35) 大阪文化財研究 23号
- (36) 大阪文化財研究 24号
- (37) 大阪文化財研究 25号
- (38) 年報 平成14年度
- (39) 民家集落ふるさとだより No.22
- (40) 民家集落ふるさとだより No.23
- (41) OCCH No.25
- (42) OCCH No.26
- (43) OCCH No.27
- (44) カルチュアはっとり No. 1
- (45) カルチュアはっとり No. 2
- (46) カルチュアはっとり No. 3 ここまでわかった考古学 竈形土器の語るもの
- (47) ここまでわかった考古学 考古学と実年代
- (48) ここまでわかった考古学 最古の土師器
- (49) 男里遺跡発掘調査概要Ⅶ (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (50) 田能遺跡発掘調査概要Ⅳ (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (51) 加納古墳群・平石古墳群発掘調査概要Ⅱ (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (52) 馬場ノ下遺跡発掘調査概要 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (53) 余部遺跡Ⅱ (大阪府教育委員会館の増刷)
- (54) 福井遺跡 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (55) 西大井遺跡 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (56) 中田遺跡他 発掘調査報告 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (57) 崇禅寺遺跡 (大阪府教育委員会館の増刷)
- (58) 大阪府教育委員会文化財調査事務所 年報 6 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (59) 雁屋遺跡発掘調査概要Ⅴ (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (60) 余部遺跡Ⅲ (大阪府教育委員会刊の増刷)

2. ニュースレター（OCCH）の発行

平成15年度は下記のとおり刊行した。

No.25（平成15年 7 月31日）

No.26（平成15年11月28日）

No.27（平成16年 3 月31日）

3. 年報の編集と発行

平成14年度の年報を発行し、関係団体に送付した。

（9）図書の収集

平成15年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

1. 購入図書

619冊

2. 研究機関、行政機関等からの寄贈図書

2,407冊（311,873頁）

計 3,026冊

累計 58,850冊

（10）図書の販売及び寄贈

1. 図書の販売

平成15年度は次のとおり販売した。

販売総数 1,904冊 販売金額 2,105,135円（税抜）

2. 図書の寄贈配布

研究機関、行政機関等に対して当センターの刊行図書を寄贈配布した。

（11）各種データベースの構築

現在、主として構築しているデータベースは、蔵書登録データベースと雑誌目次データベースである。蔵書登録データベースは寄贈を受けた図書・購入した図書の図書原簿への手書き登録に基づき、それをワークシートとしてコンピュータにデータ入力を行っている。

雑誌目次データベースは考古学関係雑誌の目次項目（雑誌名、巻号、出版所、著者名、論文名等）を1つずつ、ランニングNo.等をふり、ワークシート化してデータ入力している。

平成16年 3 月末現在で当センター蔵書のデータベースは58,850レコード、雑誌文献データベースは51,663レコードが入力済である。マイクロフィルム蔵書データベースは約16,000レコードが現在完了している。

(12) 資料等の貸出

a 資料及び写真の貸出

平成15年度常設展示貸出し資料一覧

総点数293点

文書番号	貸出先	貸出展示等名称	貸出期間	資料名	点数
J03-01	大阪府立弥生文化博物館 (移動記録)	弥生文化博物館 常設展示	H14. 4. 1 ～ H15. 3. 31	新家：1, 瓜生堂：2, 巨摩：6, 山賀：6, 亀井北：1, 亀井：26, 田山：47, 西大路：5, 脇浜：12, 貝掛：9	実物115
J03-02	大阪府立近つ飛鳥博物館 (移動記録)	近つ飛鳥博物館 常設展示	H14. 4. 1 ～ H15. 3. 31	久宝寺：6, 美園：6, 小阪：40, 日置荘：2	実物54
J03-03	大阪府教育委員会 文化財保護課	泉北考古資料館 常設展示	H14. 4. 1 ～ H15. 3. 31	伏尾：家形埴輪1, 野々井西：弥生土器4/石器11/全景写真1, 陶邑関連パネル4	実物16 写真5
J03-04	和泉市教育委員会	和泉市いずみの国歴史館 常設展示	H14. 4. 1 ～ H15. 3. 31	福瀬：墨書皿(寺)1/木製弓2/下駄2/鉋台1/桶底板1/椀1/雁股式有茎鏝1/小刀1, 仏並：縄文土器(鉢)1/縄文土器(深鉢)1/土面レプリカ1/パネル2, 池田寺：縄文土器(深鉢)1/文字瓦 (池田・堂)2	実物16 パネル2
J03-05	諏訪市教育委員会 諏訪市博物館	諏訪市博物館 常設展示	H14. 4. 1 ～ H15. 3. 31	亀井：弥生式土器1	実物1
J03-06	泉佐野市立歴史館いずみさの	歴史館いずみさの 常設展示	H14. 4. 1 ～ H15. 3. 31	日置荘：青磁碗2/土師器小皿6/鉄瓶1	実物9
J03-07	大阪府富田林土木事務所	狭山池博物館 常設展示	H14. 4. 1 ～ H15. 3. 31	城山：韓式土器5, 日置荘：青磁碗1	実物6
J03-08	吹田市立博物館	吹田市立博物館 常設展示	H14. 4. 1 ～ H15. 3. 31	吹田操車場：須恵器大型甕1	実物1
J03-09	美原町教育委員会	人・夢・創造の交流館 (仮称) 常設展示	H14. 4. 1 ～ H15. 3. 31	真福寺：梵鐘製造遺構切り取り1	実物1
J03-10	美原町教育委員会	美原町立みはら歴史博物館 常設展示	H15. 1. 20 ～ H15. 3. 31	真福寺：梵鐘鋳型等8/鋳型(外型)用途不明1/鋳型(外型)磬1/瓦器椀2/東播系こね鉢1/土師器羽釜1/鋳型(外型)鍋2/溶解炉1/轆轤口2/鋳型(外型)コップ型1/円面硯1, 余部：磬鋳型2/釜鋳型1, 太井：轆轤口2/統一新羅印花文陶器1/延喜通寶3/埴塙19/轆轤口11/須恵器高杯1/丸柄1, さば山古墳：円筒埴輪2/朝顔形埴輪2, 丹上：巡方1	実物67

平成15年度貸出し資料一覧

総点数787点

番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M03-01	大田区立郷土博物館	平成15年度特別展「動物と考古学」	H15. 10. 6 ～ H15. 12. 1	巨摩：スタンプ文土器 1, 鳥形木製品 1. 瓜生堂：鳥形木製品 1. 亀井絵画文土器(シカ) 4	7
M03-02	地底の森ミュージアム	平成15年度特別企画展「送りの考古学-後期旧石器から縄文時代の葬送」	H15. 6. 2 ～ H15. 10. 10	向出：有文深鉢, 広口深鉢, 突起平縁浅鉢, 平縁深鉢, 無文注口土器, 砲弾形深鉢, 深鉢, 無文深鉢, 石棒 2, 小玉	11
		写真資料		向出遺跡 立ったまま出土した石棒, 上空から見た向出遺跡カー 2	2
M03-03	長浜市教育委員会	市制60周年記念行事 秀吉の時代「城・町・	H15. 7. 7 ～ H15. 9. 12	大坂城：金箔瓦 軒丸瓦 2, 軒平瓦 2	4

M03-04	府立弥生文化博物館	平成15年度夏季企画展「世界の貨幣展 金は天下のまわりもの」	H15. 7. 19	～H15. 9. 7	亀井:貨泉 1. 巨摩:貨泉 1, 広口壺 1, 長頸壺 1, 大形鉢 1, 鉢 1. 田須谷古墳:和同開珎7, 刀子 2, 鉄釘 6, 須恵器 2, 骨角製品 1. 小阪合:和同開珎61, 隆平永寶 2, 富壽神寶 2, 承和晶寶 1, 長年大寶 1, 饒益神寶 2. 栗栖山南墳墓:錢貨10, 備前壺 1, 瓦質羽釜 1. 大坂城:隆平永寶28, 蔓草鳳麟鏡 1, 数珠玉 1, 慶長丁銀 1, 繭形分銅 7, 棹秤容器 1, 棹 1, つなぎ棹 1, 天秤木瓜 1	147
		写真資料	6月中旬	～	亀井:遺跡全景 1. 田須谷: 1 号墳全景, 火葬墓 1 蔵骨器埋置復元状況. 小阪合:和同開珎出土状況, 川200出土と同開珎. 栗栖山南墳墓群:元位置で検出された石仏群, 600号墓, 藁状の繊維で 6 枚重ねられた北宋銭, 69号墓. 大坂城:墓1, 調査地航空写真, 植田池・長滝・安松:航空写真, 137-0U全景 全カラー	13
M03-05	津山郷土博物館	平成15年度津山郷土博物館特別展「渡来人」	H15. 10. 1	～H15. 11. 21	大庭寺:船形須恵器 1, 須恵器12, 須恵質当て具 2, 軟質土器 7, 算盤玉形紡錘車 1. 伏尾:竈 1, 甌 1, 長胴甕 1. 小阪合:韓式系土器 4, 須恵器 5, 須恵質鳥形土製品 2	37
		写真資料・パネル用写真	H15. 7. 28	～H15. 9. 30	大庭寺:船形須恵器, 須恵器平底甕, 樽形土器, 器台, 壺, 杯 2, 壺+器台, 樽形はそう, 蓋, 把手付碗, 当て具, 無文当て具, 軟質土器集合, 算盤玉形紡錘車集合. 伏尾:竈・甌・長胴甕の 3 点セット. 小阪合:韓式系土器集合, 初期須恵器集合, 須恵質鳥形土製品 パネル:大庭寺遺跡より百舌鳥野を望む, TG232号窯航空写真, TG232号窯灰原, 大庭寺遺跡谷底部分調査風景, 伏尾遺跡から泉北丘陵を望む, 伏尾遺跡全景, 小阪合98-3 区第III面調査風景 2	27
M03-06	富山県埋蔵文化財センター	特別展「武士と茶の湯」	H15. 9. 24	～H15. 11. 12	大坂城:家紋飾り瓦 1, 金箔瓦 軒丸瓦 2, 軒平瓦 2, 慶長丁銀 1, 繭形分銅 5	11
M03-07	大阪府立狭山池博物館	平成15年度特別展「行基の構築と救済」	H15. 8. 1	～H15. 12. 12	観音寺:墨書土器1, 土師器1. 真福寺:瓶子1. 丹上:せん1, 石か帯1	6
		写真資料	H15. 8. 1	～H15. 10. 31	観音寺:大溝G1/真福寺:条里坪境溝1-30/丹上:掘立柱建物	3
M03-08	尼崎市立田能資料館	第33回尼崎市立田能資料館特別展「弥生の海」	H15. 9. 10	～H15. 11. 12	新家:木製ウキ1. 山賀:ヤス状木製品1. 亀井:骨針1, 骨角製釣針1, ヤス状骨器1, 鹿角製ヤス1, 鹿角製釣針未成品1. 西岩田:浮子状木製品1, 回, 舟形木製品1, アカカキ状木製品1, カジ状木製品1.	12
		写真資料・パネル	H15. 8. 12	～H15. 9. 26	西岩田:舟形木製品. 弥生時代中頃の河内平野のパネル	2
M03-09	福島県立博物館	平成15年度第2回企画展「笑いの想像力-笑わせるヒトと笑わせるモノの博物誌-」	H15. 9 月中頃	～H15. 12 月中頃	仏並:土面	1
		写真資料	H15. 8 月中頃	～H15. 11 月末頃	仏並:土面	1
M03-10	日本民家集落博物館	カルチュア・はっとりオープン展示「民家の文化庁・ドイツ連邦共和国ライス・エンゲルホルン博物館主催「日本の考古-曙光の時代-」	H15. 8. 26	～H15. 10. 2	長原:家形埴輪. 亀井:家形埴輪. 溝咋:竈, 甕, 甌. 伏尾:家形埴輪. 小阪:堅穴住居復元模型2	8
M03-11	文化庁	文化庁	H16. 5 月中頃	～H17. 3. 31	巨摩:碧玉製耳飾2. 大庭寺:船形須恵器, 須恵器有蓋高杯身, 高杯2, 器台, 蓋, 大甕	9

M03-12	日本民家集落博物館	カルチュア・はっとりオープン展示「民家の写真資料」	H15. 8. 23	～H15. 9. 30	瓜生堂:鳥形木製品, 線刻土器破片(建物)	2
		写真資料	H15. 8. 23	～H15. 9. 30	高宮:掘立柱建物群カーボシ	1
M03-13	四条畷市教育委員会	平成15年度特別展「浄土ストリート」	H15. 10. 14	～H15. 12. 10	讃良郡条里:絵馬2. 小路:人面墨書土器3	5
		写真資料	H15. 10. 1	～H15. 10. 31	讃良郡条里:河川とシガラミ, 河道内で出土した馬の頭骨, 絵馬の出土状況	3
M03-14	府立弥生文化博物館	平成16年冬季企画展「文様を描く心」	H16. 1. 15	～H16. 3. 10	西大井:黒漆塗直弧文板. 池島・福万寺:高杯, 高杯復元模型. 瓜生堂:銅鐸形土製品. 東奈良:把頭飾. 巨摩:四脚付台形木製品	5
		写真資料	H15. 12. 3	～H16. 1. 30	西大井:黒漆塗直弧文板 全体+部分	2
M03-15	日本民家集落博物館	カルチュア・はっとり展示道具「かやぶきーいにしえの民家」	H15. 12. 24	～H16. 2. 27	蛭池西:ナイフ形石器, 翼状剥片. 仏並:石斧. 小阪:定角石斧. 亀井:太型蛤刃石斧, 縦斧(石器装着状態). 西岩田:横斧. 土井の木:手斧	8
M03-16	府立近つ飛鳥博物館	平成15年度冬季企画展「一須賀古墳群の調査-B支群-」	H16. 1. 15	～H16. 3. 16	溝咋:炊飯具3点セット. 大庭寺:器台2, 蓋3, 有蓋高杯2, 高杯3	13
M03-17	岸和田市教育委員会	岸和田市立郷土資料館春季特別展「谷に刻まれた文化」	H16. 3. 8	～H16. 5. 19	山之内:横長剥片, 船底型石器, 深鉢, サヌカイト製石鉢20, 黒曜石・チャート・メノウ製打製石器10, 弥生土器手焙形土器, 長頸壺, 鉢, 高杯. 上フジ:小銅鐸, 弥生土器片11, 小形鉢. 三田古墳:三葉環頭大刀, 剣, 鉄鉢20, 須恵器(鈴付高杯他)3. 土玉168, 玉類147. 中之社:縄文土器片17. 軽部池:縄文土器片12. 山直北:緑釉陶器香炉, 皿, 円面硯, 土馬	425
M03-18	独立行政法人奈良文化財研究所	飛鳥資料館春季特別展示「飛鳥の湯屋」	H16. 4. 5	～H16. 5. 25	余部:鉄釜鋳型	1
M03-19	NHK大阪放送局	その時歴史が動いた 家康が埋めた秀吉の夢～新発見!「堀」が語る大坂の陣～」	H16. 3. 15	～H16. 3. 17	大坂城三の丸:茶碗5, 皿5, 箸3, 徳利3, 滴水瓦1, 金箔瓦3, 鉄砲玉が打ち込まれた板1	21

平成15年度写真貸出し・掲載許可申請

総点数376点

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P03-01	有限会社 O P O	H15. 4. 1	単元演習・社会(出版社:株式会社文理)	大庭寺:須恵器壺	モノ×1	1
P03-02	株式会社 小学館	H15. 2. 5	考古資料大観 第8巻	下田:四方転び/把/木甲/環形	カー×4	4
P03-03	株式会社 小学館	H15. 1. 28	考古資料大観 第8巻	池上:広楕/鋤2/組合せ鋤/横槌/斧柄3/弓2/鉢/高杯/盤/杓/腰当/鳥形3/不明品2/陽物形/鳥形C/杓子, 瓜生堂:杓/布巻具/短甲/横槌/不明柄/紡織具/斧柄/組合せ鋤C/一木鋤C/ささらC, 巨摩・瓜生堂:四脚付台形木製品/横槌/斧柄/巻束/容器/台形木製品C/堅櫛C, 久宝寺:不明品/紡錘車/堅杵/建材/鋤/泥除け/船C, 溝咋:下駄/不明品, 山賀:鳥形/泥除け/不明品/高杯/弓/合子/不明品/笠若江北:鉄斧柄, 西岩田:たも杵/不明柄/糸巻, 美園:不明品/鋤, 亀井:杓柄/布巻具/臼, 新家:一木鋤	カー×6 モノ×56	62

P03-04	株式会社 小学館	H15. 3. 11	考古資料大観 第1巻	山賀:彩文土器C2, 池上:広口壺4/高杯/鉢2/無頸壺2マダコ壺2集合/広口壺3集合/水差形/広口壺2/高杯3集合/鉢4/甕2/イタコ壺5集合/甕2, 久宝寺:壺, 国府:高杯/広口壺2/鉢2/水差形土器/無頸壺/無文広口壺/細頸壺/甕2/器台, 下田:広口壺, 美園:広口壺6/甕4/鉢2/甕2, 山賀:広口壺2, 無頸壺/鉢/広口壺6/鉢3/蓋3/甕2/広口壺6/無頸壺/甕	カラー×2 モノクロ×75	77
P03-05	鳥取県教育委員会	H15. 5. 19	弥生時代からのメッセージ-最新成果で語る鳥取の弥生文化展-	久宝寺:準構造船出土状況, 美園:被熱変形土器, 山賀:釜出土状況	カラー×3	3
P03-06	文化庁美術学芸課	H15. 4. 9	海外展「曙光の時代-日本原始・古代展-	巨摩出土品, 大庭寺出土品	撮影	9
P03-07	奈良文化財研究所	H15. 4. 23	第92回奈良国立文化財研究所公開講演会ポスター	美園:家形埴輪4	カラー×4	4
P03-08	株式会社 小学館	H15. 5. 2	考古資料大観 第1巻	瓜生堂:中期土器集合C/水差形土器/甕2/広口壺5/細頸壺2/押圧突帯付広口壺/鉢2/蓋/水差形土器/無頸壺2/甕3/広口壺	カラー×1 モノクロ×21	22
P03-09	泉大津市教育委員会	H15. 5. 9	泉大津市史一巻(上)	池上: I 地区 E F G 溝/石斧三種の着柄	モノクロ×2	2
P03-10	経済産業省資源エネルギー庁	H16. 5. 23	高レベル放射性廃棄物処分に関する理解促進パンフレット	下田:銅鐸出土状況/銅鐸	転載	2
P03-11	泉大津市教育委員会	H15. 5. 29	泉大津市史一巻(上)	仏並:土製仮面	カラー×1	1
P03-12	近畿日本鉄道株式会社	H15. 6. 6	はさみ山遺跡現地説明会案内ポスター	はさみ山:南群の掘立柱建物群	カラー×1	1
P03-13	NHK奈良放送局	H15. 6. 12	ニュースなら630, かんさいニュース一番	下田:土器、土製品	撮影	1
P03-14	株式会社 小学館	H15. 6. 16	考古資料大観 第3・6・7巻	(3)大庭寺:231・232号窯/土器一括/船形品, 小阪:土器一括, 三田古墳:鈴台付高杯, (6)亀井:銅鏃C/貨泉C/貨泉, 久宝寺:大阪湾型銅戈, 下田:銅鐸, 瓜生堂:大阪湾型銅戈	カラー×5 モノクロ×11	16
P03-15	泉大津市史編さん室	H15. 6. 19	泉大津市史一巻(上)	豊中・古池:河川状遺構出土土器	モノクロ×1	1
P03-16	泉佐野市教育委員会	H15. 6. 18	国史跡日根野遺跡保存管理計画書	机場遺跡、日根野遺跡遺構図	転載	1
P03-17	学生社	H15. 6. 20	シンポジウム古代の難波と難波宮(仮称)	難波宮跡:調査地の位置	転載	1
P03-18	新人物往来社	H15. 6. 27	月刊「歴史読本」2003年9月号	久宝寺:木製楯	モノクロ×1	1
P03-19	鳥取県教育委員会	H15. 7. 4	山陰弥生文化公開シンポジウム「山陰VSヤマトー交易から弥生文化の実像にせまる」	巨摩:装身具集合, 巨摩・亀井:貨泉集合	カラー×2	2
P03-20	株式会社 新学社	H15. 7. 2	LAN版 歴史資料集(仮題)	大庭寺:須恵器	カラー×1	1
P03-21	株式会社 デアゴスティーニ・ジャパン	H15. 7. 7	週刊ビジュアル源氏物語	讃良郡条里:絵馬1	カラー×1	1
P03-22	富山県埋蔵文化財センター	H15. 7. 15	平成15年度特別展「武士と茶の湯」	大坂:金箔瓦集合/桐紋飾瓦/目貫集合/繭形分銅等集合/慶長丁銀	カラー×5	5
P03-23	泉大津市史編さん室	H15. 7. 18	泉大津市史一巻(上)	池園:形象埴輪	モノクロ×1	1
P03-24	泉大津市史編さん室	H15. 8. 16	泉大津市史一巻(上)	池上:弥生式土器第III-IV様式壺形土器文様	モノクロ×1	1
P03-25	鳥取県立博物館	H15. 8. 21	発掘された日本列島2003ポスター・チラシ	讃良郡条里:絵馬出土状況/絵馬1	カラー×1	1
P03-26	株式会社 小学館	H15. 8. 27	考古資料大観 第3・6巻	(3)難波宮跡:古代土器群, (6)巨摩:ガラス小玉	カラー×1 モノクロ×1	2
P03-27	文化庁文化財部	H15. 9. 4	文化遺産オンライン	公式ホームページへのリンク	H. P. リンク	1

P03-28	河内長野市教育委員会	H15. 9. 26	河内長野市立郷土資料館秋季特別展「人の動き、物の流れから見た高野街道と河内長野(仮称)」	日置荘：12溝に囲まれた屋敷(E地区区画3)	カラー×1	1
P03-29	藤井寺市教育委員会	H15. 9. 25	藤井寺市ホームページ『藤井寺市』『歴史探訪』『古代からのメッセージ』	亀井：弥生犬	カラー×1	1
P03-30	十三行博物館	H15. 9. 17	Book about some important Site Museums and bheritance organizations of Japan	財団法人大阪府文化財センター要覧ー	掲載	1
P03-31	有限会社 アムール	H15. 10. 1	紀伊國屋書店ビデオシリーズ歴史に学ぶ(4)「稲と文明-DNA考古学から見る稲作と環境史ー」	池島・福万寺遺跡 水田面	撮影	1
P03-32	立命館大学COE推進機構	H15. 10. 27	災害史セミナー「『災害』の履歴と現在ー過去の経験をどのように現在に活かすかー」	池島分室と協議	カラー×10	1
P03-33	堺市教育委員会	H15. 11. 7	2003年歴史街道ウォーク&トーク 境・美原コース パンフレット/展示パネル	(パンフレット)日置荘：溝で囲まれた屋敷群/(展示パネル)日置荘：中世の村と萩原寺/条里地割と屋敷	カラー×3	3
P03-34	日本経済新聞社大阪本社	H15. 11. 6	日本経済新聞夕刊(関西版)	高宮：堅穴住居(造り付けの竈がつく)	モノクロ×1	1
P03-35	株式会社 春秋社	H15. 11. 21	『埋もれた楽器ー音楽考古学の現場からー』	溝咋：琴状木製品	モノクロ×1	1
P03-36	学校法人 日本放送協会学園	H15. 11. 26	東京都認可通信教育「考古学入門講座テキスト」	池上：鳥形木製品	モノクロ×1	1
P03-37	朝日新聞社アサヒカメラ編集部	H15. 11. 27	『アサヒカメラ』2004年2月号	溝咋：人面線刻土器(写真家熊谷武二氏撮影写真)	転載	1
P03-38	株式会社 小学館	H15. 11. 11	考古資料大観 第4巻	日置荘：人物埴輪4/人物埴輪破片2/家形埴輪2/甲形埴輪/円筒埴輪33/埴輪窯と灰原/埴輪窯天井崩落状況/埴輪窯埴輪出土状況3/埴輪窯樹立埴輪、亀井：鐙形土製品/分銅形土製品、大庭寺：船形土製品、巨摩：椅子形埴輪	モノクロ×52	52
P03-39	株式会社 小学館	H15. 12. 4	考古資料大観 第4巻	美園：家形埴輪C、長原3号墳：蓋形埴輪	カラー×1 モノクロ×1	2
P03-40	和泉市教育委員会	H15. 12. 12	和泉市の歴史 1 横山と槇尾山の歴史	仏並：調査地全景C/中央微高地周辺空中写真/東微高地周辺空中写真/中世遺構検出状況、福瀬：遺跡全景C2	カラー×3 モノクロ×3	6
P03-41	新人物往来社	H15. 12. 17	月刊「歴史読本」2004年3月号	大坂城：堀の底は凸凹(堀83)/切り落とされた首(人骨99)	モノクロ×2	2
P03-42	豊中市教育委員会	H15. 12. 24	「新修豊中市史 第3巻考古」	蛍池西：石器8、蛍池東：トレンチ全景2/土器8、麻田藩陣屋跡：近世遺構面2	モノクロ×20	20
P03-43	大阪市市長室秘書課	H15. 12. 24	「わたしの大阪2004」	難波宮跡：「戊申年」銘ほかの木簡	カラー×1	1
P03-44	奈良文化財研究所	H16. 1. 14	「古代の官衙遺跡 II 遺物編・各種官衙編」	難波宮跡：1号木簡「秦人凡國評」/2号木簡「支多比」	モノクロ×2	2
P03-45	岸和田市教育委員会	H16. 2. 4	図録「春季特別展 谷に刻まれた歴史」	山之内：縄文土器/サヌカイト製石鏃/黒曜石・チャート・メノウ製打製石器/弥生土器4、上フジ：小銅鐙/弥生土器/全景、三田古墳：三葉環頭大刀/剣/鉄鏃/須恵器/土玉/玉類/全景、中之社：縄文土器片、山直北：緑釉陶器(香炉・皿)/円面硯	カラー×8 モノクロ×16	24
P03-46	藤井寺市教育委員会	H16. 2. 6	『古市古墳群の終焉を考える』	大庭寺：初期須恵器/灰原(掲載許可のみ)、日置荘：人物埴輪	カラー×1 掲載許可×2	3

P03-47	太宰府市市史編集委員会	H16. 2. 12	『太宰府市史 通史編』	城山：墨書土器(富官家)	モノクロ×1	1
P03-48	日本放送協会学園	H16. 2. 13	『考古学入門』講座テキスト	大庭寺：TG232号窯出土初期須恵器/TG232号窯灰原、蔵塚古墳：後円部土のう列検出状況	モノクロ×3	3
P03-49	美原町教育委員会	H16. 2. 13	平成15年度冬季企画展「遺物が語る美原の歴史」の展示パネル・展示解説書・ポスター・チラシ	太井：鑄造関連遺構/II調査区H地区遺構平面図/統一新羅印花文陶器/和同開珎	転載×4	4
P03-50	日本放送協会学園	H16. 2. 20	『考古学入門』講座テキスト	美園：家形埴輪実測図	転載×1	1
P03-51	世界思想社	H16. 3. 3	『日本考古学を学ぶ人のために入門』	仏並：土製仮面実測図	転載×1	1
P03-52	光村図書出版	H16. 3. 4	『ふしぎのたね』No. 36「古代衣服史」	瓜生堂：経巻具（布巻具）	モノクロ×1	1
P03-53	八尾市教育委員会	H16. 3. 4	(仮称)心合寺古墳ガイダンス施設の展示解説パネル	久宝寺：準構造船出土状況、久宝寺竜華：堰1・堰2、池島福万寺：竪穴住居跡・古墳時代のムラ	カラー×4	4
P03-54	藤井寺市教育委員会	H16. 3. 5	『藤井寺市広報』4月号「古代からのメッセージ」169号	大庭寺：軟質土器	転載×1	1
P03-55	歴史館いずみさの	H16. 3. 11	「平成16年度行事案内および出版物『歴史通信いずみさの』」	仏並：土製仮面実測図	カラー×1	1
P03-56	NHK大阪放送局	H16. 3. 12	「その時歴史は動いた家康が埋めた秀吉の夢〜新発見!「堀」が語る大坂の陣〜(仮)」	大坂城三の丸に関わる堀：茶碗を抱いた女性の遺体・工事用道路の遺構・出土したばかりの皿・出土したばかりの茶碗	カラー×4	4
P03-57	新人物往来社	H16. 3. 23	月刊「歴史読本」2004年6月号	難波宮跡：掘立柱列・谷2から出土した主要な絵馬	モノクロ×2	2
P03-58	大和書房	H16. 3. 23	「東アジアの古代文化」119号	大坂城跡：漆器を抱いて、ムシロで巻かれて埋められていた女性	転載×1	1
P03-59	財団法人千葉県史料研究財団	H16. 3. 29	『千葉県の歴史 資料編 考古4（遺跡・遺構・遺物）』	大庭寺：須恵器 器台・壺・杯・把手付椀	カラー×4	4

b 映画の貸出上映

平成15年度は下記のとおり貸出し、上映した。

7月11日 財団法人長岡京市埋蔵文化財センター

塩づくりの遺跡

7月16日 大阪府立八尾高校

河内の弥生墳墓

11月27日 華頂女子短期大学

河内平野を掘る

甦る手工業集団

佐保栗栖山砦跡・中世墓群の発掘調査

12月6日 郷土の文化財を見学する会

—吉備地域の文化財探訪—

佐保栗栖山砦跡・中世墓群の発掘調査

5. 研修、研究会等

(1) 調査部研修

平成15年度 調査部研修一覧

	実施年月日	研 修 内 容	講 師 等
1	平成15年 4 月 9 日(水)	改訂調査マニュアルについて(1)	マニュアル検討会
2	平成15年 5 月 7 日(水)	改訂調査マニュアルについて(2)	マニュアル検討会
3	平成15年 6 月 4 日(水)	33年を顧みて	弥生文化博物館 石神 怡
4	平成15年 7 月 2 日(水)	交通安全講習	大阪府泉北警察署 交通課
5	平成15年 9 月 3 日(水)	読ませる文章づくり	朝日新聞 大阪本社 天野 幸弘
6	平成15年10月 1 日(水)	母子家庭の就労支援について	大阪府健康福祉部児童家庭室 家庭支援課家庭福祉グループ 山上 時津子 小林 眞一
7	平成15年12月 3 日(水)	骨、あれこれ	大阪市立大学 安部 みき子
8	平成16年 1 月 7 日(水)	平成15年度海外研修報告	森屋 直樹 西村 歩
		平成15年度主要遺跡発掘調査報告会(1)	各担当者
9	平成16年 2 月 4 日(水)	平成15年度主要遺跡発掘調査報告会(2)	各担当者
10	平成16年 3 月29日(月)	平成16年度事業について	調整課長 赤木 克視

(2) センター職員研究助成

平成15年度研究助成一覧

No.	名 前	個・共	研 究 課 題
H15-1	森本 徹・廣瀬時習・市村慎太郎・島崎久恵	共同	摂河泉地域における古墳時代集落の基礎研究

(3) 大阪府埋蔵文化財研究会

名 称：第47回大阪府埋蔵文化財研究会

テーマ：「大阪府における古代遺跡の発掘調査」

日 時：平成15年 9 月27日（土）午前 9 時50分～午後 5 時00分

場 所：大阪府教育委員会 文化財調査事務所 1 階 講義室

主 催：（財）大阪府文化財センター 大阪府教育委員会

記念講演

古代の末端官衙と集落	奈良文化財研究所	山中 敏史氏
発 表		
（財）大阪府文化財センターによる平成10年度・14年度小阪合遺跡の調査	（財）大阪府文化財センター	本間 元樹氏
渋川廃寺の調査	（財）八尾市文化財調査研究会	坪田 真一氏
新上小阪遺跡の調査	（財）大阪府文化財センター	市村慎太郎氏
難波宮発掘の最新成果－史跡難波宮跡2002年度の発掘調査から－	（財）大阪市文化財協会	李 陽浩氏
高宮遺跡古代大型建物群の調査	大阪府教育委員会	一瀬 和夫氏
善根寺遺跡の調査	東大阪市教育委員会	菅原 章太氏
はざみ山遺跡の調査	（財）大阪府文化財センター	三好 孝一氏
新堂廃寺跡・オガンジ池瓦窯跡に出土した瓦資料の年代	富田林市教育委員会	栗田 薫氏
		参加者 67名

名 称：第48回大阪府埋蔵文化財研究会

テーマ：「大阪府内の古代、中世の民間信仰に関する遺跡の発掘調査及び記念講演」

日 時：平成16年 3 月 6 日（土）午前 9 時50分～午後 4 時45分

場 所：大阪歴史博物館 4 階 講堂

主 催：（財）大阪府文化財センター 大阪府教育委員会 （財）大阪市文化財協会

後 援：大阪歴史博物館

記念講演

古代・中世まじないの世界	（財）大阪府文化財センター理事長	水野 正好氏
大阪府で私が行った調査事例	大阪府教育委員会	堀江 門也氏
発 表		
玉櫛遺跡出土の呪術関係遺物	（財）大阪府文化財センター 奈良県立橿原考古学研究所	駒井 正明氏 鈴木 雅美氏
加美遺跡出土の奈良時代祭祀関連遺物について	（財）大阪市文化財協会	平田 洋司氏
讃良郡条里遺跡の古代祭祀－絵馬、人面墨書土器、人形について－	（財）大阪府文化財センター	長戸 満男氏

五反島遺跡出土の卒塔婆について	吹田市立博物館	西本 安秀氏
長原遺跡の発掘調査 ―奈良時代河川から出土した祭祀遺物と牛馬骨―	(財)大阪市文化財協会	大庭 重信氏
史跡土塔の文字瓦について	堺市立埋蔵文化財センター	近藤 康司氏
紙上参加		
久宝寺遺跡出土墨書土器について	(財)大阪府文化財センター	永野 仁氏
		参加者 155名

(4) 「近畿ブロック埋文研修会」と「近畿ブロック埋文情報」

1. 近畿ブロック埋文研修会

第9回を数える平成15年度の研修会は、平成15年10月24日（金）、財団法人東大阪市文化財協会が開催担当法人となり、全体テーマ「最近の研究成果」のもとに12本の研究発表が行われた。センターから35名が参加した。

2. 近畿ブロック埋文情報

第30号～第32号が刊行された。

(5) 各博物館とセンター部との共同研究

両部門における資質をより一層向上させるため、下記のとおり共同研究を行い、それぞれ最終発表会は一般市民を対象としたものとし、資料集を刊行した。但し、民家集落博物館の発表はミニ講座等と兼ねたため、資料集は作成しなかった。

共同研究テーマ

センター部と民家集落博物館	「住居に関する総合的研究2」
センター部と弥生文化博物館	「北の文化 ―続縄文の世界―」
センター部と近つ飛鳥博物館	「墳墓と墓誌」

(6) 第14回考古学国際交流研究会

平成15年10月27日から11月2日の日程で当センターの職員を韓国に派遣した。木浦、光州、全州、扶余、公州、ソウル等の大学や博物館、遺跡を視察し、彼地の研究者との意見交換等により、韓国考古学の最新情報の吸収につとめた。

(7) 体験学習の受け入れ

1. 大阪府立今宮高等学校夏季集中講座『考古学入門』

今宮高校が夏季集中講座として行っている『考古学入門』が大坂城跡の調査地を実習地として行われた。期間は平成15年7月28日から8月1日までの5日間で、2年生女子5名、3年生女子3名が参加した。発掘調査などの外業実習を主としたが、内業実習のほか、各時代の概説も行った。また、自身も今宮高校の出身である水野理事長の講演も行い、充実した5日間を共有することができた。

2. 和光高等学校『発掘体験』

讀良郡条里遺跡3-2では、東京都にある和光高校日本古代史研究講座が研究旅行の一環として、10月16日の午前中に発掘実習を行った。参加者は引率の先生1人と助手2人（卒業生）、生徒25名であった。実習は、竹ベラを使っての遺物の取り上げや、平板による実測、スコップを使っての流路の掘り下げを行った。日本古代史講座を選択している生徒ばかりのためか、終始、熱気溢れる実習となった。

3. 石切・縄手中学校の職業体験学習

池島分室では、平成15年11月19・20日に上記2校の中学生（男子10名・女子1名）の職業体験学習を受け入れた。発掘現場では、足跡掘りや遺構の白線引きなど教科書の学習とは全く異なった作業を体験した。また整理作業では、土器の洗浄、注記、復元などを行ったが、仕事時間を過ぎてからも熱心に復元作業に挑戦し続ける生徒もみられた。

4. その他の事業

7月16日、八尾高校で2年生31人を対象として「遺跡の発掘調査研究と歴史遺産の保存」について普及部長による講演を行った。また、7月25日に、久宝寺遺跡の発掘調査現場で中学校と高等学校の社会化担当の教諭28名を対象に研修を実施した。

6. 当センターを訪れた海外の研究者

平成15年

6月30日 林 孝澤 団長（東義大学校教授）他 韓国大学博物館協会一行。

7月7日 李 栄文 木浦大学校教授、崔 完奎 円光大学校教授

7月14日 丁 英姫 学芸研究士 他 木浦大学校博物館関係者一行。

8月7日 金 雄信 氏 他 畿甸文化財研究員関係者一行。

11月27日、12月2日 河 眞鎬 氏 他 嶺南文化財研究員関係者一行。

平成16年

2月13日 尹 光鎮 所長 他 国立慶州文化財研究所関係者一行。

2月20日、21日 趙 榮濟 氏、柳昌 煥 氏（慶尚大学校）、鄭 基鎮 氏（光州広域市立民俗博物館）、
河 承哲 氏（慶南発展研究員歴史文化センター）

2月25日 金 瑩和 氏 他 畿甸文化財研究員関係者一行。

3月25日 韓 盛旭 氏（松廣寺聖宝博物館）

7. 弥生文化博物館事業概要

(1) 施設の概要

弥生時代の集落遺跡として著名な池上曾根遺跡の一角に、弥生文化の学習・研究センターとして1991（平成3）年2月2日に開館した。常設展示「目で見える弥生文化」では弥生文化を6つのテーマで紹介し、全国の著名な出土品のレプリカや映像などを通じて弥生文化についてわかりやすく学べるようになっている。

(2) 展示事業

a. 常設展示

第一展示室「目で見える弥生文化」・第二展示室「池上曾根ワールド」

b. 特別展・企画展等

①春季特別展「弥生創世記－検証・縄文から弥生へ－」

開催期間 平成15年4月12日（土）～6月15日（日）の56日間 入館者数 19,470人

②秋季特別展「弥生文化研究への熱いまなざし－森本六爾、小林行雄と佐原真－」

開催期間 10月4日（土）～11月30日（日）の50日間 入館者数 7,474人

③夏季企画展「世界の貨幣展－金は天下のまわりもの－」

開催期間 7月19日（土）～9月7日（日）の44日間 入館者数 6,568人

④冬季企画展「文様を描く心」

開催期間 平成16年1月24日（土）～3月7日（日）の38日間 入館者数 2,936人

⑤（財）大阪府文化財センター小テーマ展示「シリーズここまでわかった考古学

1. 考古学と実年代－考古学が歴史を変える－ 2. 最古の土師器－庄内式土器の誕生－

開催期間 3月13日（土）～3月28日（日）の14日間 入館者数 1,235人

c. 講演会等事業

①考古学セミナー等

<春季特別展>

第1回 4月20日（日）「弥生時代はどうして始まったのか－中国大陸からの視点で－」

宮本一夫（九州大学教授） 参加者203人

第2回 5月11日（日）「縄文人の弥生化！？」

泉 拓良（奈良大学教授） 参加者212人

第3回 5月18日（日）「弥生文化の形成と朝鮮半島」

西谷 正（九州大学名誉教授） 参加者215人

第4回 6月8日（日）「木の実サイクルから稲作サイクルへ

－植物利用からみる縄文・弥生社会と池上曾根遺跡－

細谷 葵（早稲田大学比較考古学研究所研究員） 参加者219人

<秋季特別展>

第1回 10月5日（日）「今日の考古学を生んだ森本六爾」

水野正好（奈良大学教授） 参加者219人

- 第2回 10月12日（日）「銅鐸研究と佐原真」
難波洋三（京都国立博物館考古室長） 参加者140人
- 第3回 11月2日（日）「考古学に秩序を与えた土器集成」
工楽善通（大阪府立狭山池博物館館長） 参加者130人
- 第4回 11月16日（日）「異質の神戸っ子－小林行雄」
壇上重光（元神戸新聞編集局長） 参加者157人
- 第5回 11月23日（日）「昭和の弥生文化研究－森本・小林・佐原の系譜」
春成秀爾（国立歴史民俗博物館教授） 参加者255人

<夏季企画展>

- 第1回 7月21日（月・祝）「富本銭から和同開珎へ」
松村恵司（独立行政法人奈良文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部考古第二調査室長） 参加者115人
- 第2回 8月17日（日）「埋蔵銭から見た中世の銭貨」
尾上 実（出土銭貨研究会幹事） 参加者101人
- 第3回 8月31日（日）「府立大阪博物場と旧蔵古銭貨章牌類資料」
久米雅雄（大阪府教育委員会文化財保護課主査） 参加者 95人

<冬季企画展>

- 2月22日（日）「文様を通してみる古代人の心」三木 弘（本館学芸員） 参加者110人

<小テーマ展示>

- 3月14日（日）鼎談「考古学と実年代－年代を測る方法－」 光谷拓実（独立行政法人奈良文化財研究所）・森岡秀人（芦屋市教育委員会）・江浦 洋（（財）大阪府文化財センター） 参加者184人
- 3月21日（日）研究発表会「最古の土師器」西村 歩（（財）大阪府文化財センター）・「庄内式甕の誕生」杉本厚典（（財）大阪府文化財センター） 参加者175人

②弥生サイト講座4「大阪に眠る弥生の墓」

- 第1回 5月10日（土）中河内の弥生の墓 三好孝一（（財）大阪府文化財センター） 参加者 44人
- 第2回 7月5日（土）大阪市内の弥生の墓 大庭重信（（財）大阪市文化財協会） 参加者 46人
- 第3回 9月6日（土）南河内の弥生の墓 鍋島隆宏（太子町建築部産業課） 参加者 46人
- 第4回 11月1日（土）和泉の弥生の墓 石橋広和（泉南市教育委員会） 参加者 40人
- 第5回 1月10日（土）摂津の弥生の墓 服部聡志（豊中市教育委員会） 参加者 34人
- 第6回 3月6日（土）北河内の弥生の墓 伊藤 武（（財）大阪府文化財センター） 参加者 41人

③学芸員による考古学講座

- 9月7日（日）「卑弥呼の鏡」（学芸課長小山田宏一）・「『月の輪教室』と私」（吉村 健）

参加者 62人

④その他の講座

11月9日（日）泉州ミュージアムネットワーク 館長対談「泉州の輝ける日日～歴史と文化に学ぶ～」対談：角山 榮（堺市博物館館長）・金関 恕（本館館長）

参加者 58人

3月27日（日）（財）大阪府文化財センター／大阪府立弥生文化博物館共同研究発表会
「北の文化―続縄文の世界―」

「続縄文時代の洞窟遺跡」右代啓視（北海道開拓記念館資料課長・学芸第一課長）

「続縄文文化の装身具に関する若干の検討」廣瀬時習（（財）大阪府文化財センター）

参加者 48人

⑤佐原真さん一周忌 追悼対談

8月16日（土）考古学今昔物語「21世紀の考古学・古代史の展望」（共催：むきばんだ応援団）

・基調講演「佐原さんの思い出と遺跡保存」

坪井清足（元興寺文化財研究所所長）・門脇禎二（京都府立大学名誉教授）

・対談「20世紀の回顧と21世紀の展望」

坪井清足・門脇禎二 聞き役：金関 恕（本館館長）

・司会：佐古和枝（関西外国語大学教授）

参加者225人

・写真パネル展示

（３）研究活動

①共同研究 第４回共同研究「弥生時代研究史と現代」（平成13年11月～）

館外の共同研究員：吉田 晶（岡山大学名誉教授）

深澤芳樹（奈良文化財研究所主任研究官）

伊藤 純（大阪府教育委員会文化財保護課主任学芸員）

佐々木泰造（毎日新聞社学芸部記者）

②（財）大阪府文化財センターとの共同研究「北の文化 続縄文の世界」

館外の共同研究員：右代啓視（北海道開拓記念館資料課長・学芸第一課長）

廣瀬時習（（財）大阪府文化財センター）

（４）教育普及事業

①ワークショップ（年間10回実施）

②やよいミュージアムコンサート（公募制・年間10回実施）

③博物館ミニギャラリー（公募制・年間10回実施）

④博物館絵画コンテスト 第9回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

⑤学校との連携

・博物館学実習：16の大学・短大から28人の実習生を受入れ。

・高校生インターンシップ：6校から8人の高校生を受入れ。

・中学生職場体験学習：4校9人の中学2年生を受入れ。

- ・ 出前授業：小学校 3 校に専門員が出向き、授業を実施。
- ・ 手紙や E メールによる小学生からの弥生時代にかんする質問への指導、回答。

(5) 資料収集事業

- ①レプリカ製作：鳥形木製品（八日市地方遺跡） 1 点
- ②図書購入：考古学関係の雑誌・資料集など270冊を購入。

(6) 広報出版事業

a. 広報事業

- ①常設展リーフレット「日本文化の源流を探る」・「ようこそ池上曽根ワールドへ」
- ②特別展・企画展ポスター・チラシ・リーフレット
- ③「小学生のための見学のしおり」
- ④常設展示ワークシート
- ⑤常設展示解説シート（7 種）
- ⑥博物館だより『弥生倶楽部』25号・26号
- ⑦ミュージアムカレンダー（3 ヶ月分のイベントを掲載した行事予定）
- ⑧インターネットホームページ

常設展、特別展・企画展および各種のイベント案内をホームページに掲載。

- ⑨マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

b. 出版事業

- ①大阪府立弥生文化博物館図録26『弥生創世記－検証・縄文から弥生へ－』
- ②大阪府立弥生文化博物館図録27『世界の貨幣展－金は天下のまわりもの－』
- ③大阪府立弥生文化博物館図録28『弥生文化研究への熱いまなざし－森本六爾、小林行雄と佐原真－』
- ④『平成14年度 弥生文化博物館要覧』

(7) 書籍等販売事業

当館において、書籍・アクセサリー等の販売を行った。

(8) 入館者数

44,710人（平成15年度）

(9) 平成15年度予算

180,368千円

8. 近つ飛鳥博物館事業概要

(1) 施設の概要

古墳時代後期の群集墳「一須賀古墳群」の一角で、1994（平成6）年3月25日にオープン。「日本古代国家の形成と国際交流をさぐる」というメインテーマのもと、古墳時代から飛鳥時代の文化遺産を展示している。

また隣接する史跡公園「近つ飛鳥風土記の丘」では、保存されている102基の古墳のうち、40基を整備・公開している。

(2) 展示事業

a 常設展示

- ①第1ゾーン「近つ飛鳥と国際交流」
- ②第2ゾーン「古代国家の源流」
- ③第3ゾーン「現代科学と文化遺産」

b 特別展・企画展等

①春季特別展「黄泉のアクセサリー ―古墳時代の装身具―」

期 間 4月15日（火）～6月15日（日）の54日間

入館者 総数 25,972人 （内展示室入場者 11,082人）

歴史セミナーの実施

	日 程	講 師 ・ 演 題	参加者
第1回	5月11日（日）	京都橘女子大学教授 猪熊 兼勝 「古墳時代の装身具」	105人
第2回	5月25日（日）	奈良文化財研究所所長 町田 章 「古墳時代装身具のルーツをさぐる」	109人
第3回	6月8日（日）	国立民族学博物館教授 大塚 和義 「北方民族文化から見た古墳時代のアクセサリー」	87人

②スポット展示「南河内の文化財シリーズ1 ―河南町―」

期 間 7月1日（火）～7月21日（月）の19日間

入館者 総数 3,569人 （内展示室入場者 1,293人）

③夏季企画陳列「水門会写真展 二〇〇三」

期 間 7月29日（火）～9月15日（月・祝）の43日間

入館者 総数 12,507人 （内展示室入場者 5,552人）

区 分	日 程	講 師	参加者
第 1 回	8 月 3 日(日)	高 島 節二 「我は海の子－海国日本海物語－」	80人
第 2 回	8 月17日(日)	井上 博道 「水の源流から里へ／万葉歌私考」	133人
第 3 回	9 月 7 日(日)	今 駒 清則 「デジタル写真～撮影と応用～」	47人

④ 秋季企画展「壁画古墳の流れ －高松塚とキトラ－」

期 間 10月7日(火)～12月7日(日)の54日間

入館者 総数 16,385人 (内展示室入館者 6,517人)

歴史セミナーの実施

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者
11月2日(日)	○講演会 関西大学名誉教授 網干 善教 「キトラ・高松塚古墳壁画の文化史的意義」 橿原考古学研究所附属博物館館長 河上 邦彦 「日本の壁画古墳の意義」 奈良文化財研究所主任研究官 花谷 浩 「キトラ古墳の調査」 ○討論会 「談論風発 高松塚 v s キトラ」	285人

解説トークの実施

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者
10月26日(日)	大阪府立近つ飛鳥博物館学芸員 上林 史郎 「壁画古墳の流れ －高松塚とキトラ－」	55人

⑤冬季企画陳列 「一須賀古墳群の調査 －B支群－」

期 間 平成16年1月20日(火)～3月14日(日)の48日間

入館者 総数 11,154人 (内展示室入場者 3,020人)

歴史セミナー

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
2月8日(日)	京都大学助教授 吉井 秀夫 「朝鮮半島からみた一須賀古墳群」	76人
2月22日(日)	大阪府教育委員会文化財保護課課長補佐 堀江 門也 「一須賀古墳群B支群の調査」	54人

(3) 研究活動

(財)大阪府文化財センターとの共同研究「墳墓と墓誌の研究」

館外の共同研究員

黒崎 直（富山大学教授）
 小林 義孝（大阪府教育委員会文化財保護課）
 奥村 茂輝（（財）大阪府文化財センター）

（４）教育普及活動

- | | | |
|---------------------------------------|-----------|----------|
| ①センターとの共同研究発表会 | 2月29日（日） | 92人参加 |
| ②カルチャーofアスカディア | | |
| ○ワークショップ「ガラス玉をつくってみよう」 | 6月1日（日） | 36人参加 |
| ○「壁画古墳を歩く（奈良県明日香村）」 | 11月23日（日） | 45人参加 |
| ③夏休みこども博物館探検ツアー | | |
| 7月20日、27日 | | |
| 8月3日、10日、17日、24日（各日曜日）に実施 | | 延べ91人参加 |
| ④コンサート | | |
| ○4月29日（火祝） 古墳の森コンサート（地元学生） | | 235人参加 |
| ○10月19日（日） 南米の音楽 | | 212人参加 |
| ○3月7日（日） 木管五重奏 | | 218人参加 |
| ⑤一須賀古墳群講座 | | |
| 2月1日（日） 「古墳群を歩く」 | | 25人参加 |
| ⑥風土記の丘古墳時代まつり | | |
| 5月5日（月・祝） ウォークラリー・古代衣裳体験・まが玉工作教室など | | 316人参加 |
| ⑦ファミリーワークショップ | | |
| 11月8日（土）「オリジナルの鏡（石こう）をつくってみよう」 | | 30人参加 |
| ⑧学校団体を対象とした修羅引き体験等ワークショップ | | |
| 適宜 25校 | | 1,859人参加 |
| ⑨土曜プログラム | | |
| 「こども展示見学キットラリー」 上半期 | | 238名参加 |
| 「こども博物館プチ探検ツアー」 通年 | | 75名参加 |
| 「風土記の丘探検ツアー」 通年 | | 23名参加 |
| ⑩博物館こども工作室 | | |
| 8月14日～16日（木～土）に工作教室的なワークショップを開催 | | 275人参加 |
| ⑪アウトリーチ活動（出前授業） 9校 408名 | | |
| ⑫中学生・高校生の職業体験（インターンシップ）受け入れ | | |
| 中学校 1校 4名、 高等学校 4校 6名 | | |
| ⑬博物館実習の大学生受け入れ | | |
| 7月23日（水）～27日（日） 20人 | | |
| ⑭Chikatsu Hands-on（小中高教員向け博物館紹介プログラム） | | |
| 12月26日（金） 72人参加 | | |

(5) 資料収集・貸出等

収集 ○模型製作 古墳時代の鉄製甲冑（体験学習用）

○図書購入 (21冊)

貸出 ○実物資料 50点

○写真・映像 158点

(6) 刊行物その他

1. 広報関連

①常設展リーフレット

②特別展・企画展ポスター・チラシ・リーフレット

③児童生徒用博物館案内1

④児童生徒用博物館案内2

⑤学校利用の手引き

⑥観光用リーフレット

⑦近つ飛鳥インフォメーション

⑧近つ飛鳥文化財マップ

⑨機関紙「アスカディア・古墳の森」

⑩近つ飛鳥博物館要覧

⑪インターネットホームページ

常設展・特別展・企画展・博物館催し物案内を、近つ飛鳥博物館ホームページに掲載し、また府民の意見・質問の対応のため意見交換コーナーを設置している。

(平成15年度のアクセス件数 232,846件

ホームページ開設以来の累計アクセス件数634,156件)

⑫マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

2. 展示関連等

○春季特別展図録「黄泉のアクセサリー」(平成15年4月 発行1,300部)

○秋季企画展図録「壁画古墳の流れ」(平成15年10月 発行1,000部)

○大阪府立近つ飛鳥博物館図録「一須賀古墳群の調査Ⅳ B支群」

(平成16年1月 発行1,000部)

○大阪府立近つ飛鳥博物館 館報8(平成15年11月 発行2,000部)

(7) 入館者

総数90,427人(内展示室入場 33,598人)

(8) 予算

216,703,000円(風土記の丘管理費を含む)

9. 日本民家集落博物館事業概要

(1) 展示事業について

1. 常設展示

①第一ブロック：「国指定文化財を中心とするコーナー」

国指定重要文化財／摂津能勢の民家・日向椎葉の民家・信濃秋山の民家

国指定重要有形民俗文化財／飛騨白川の民家

大阪府指定有形文化財／奄美大島の高倉

未指定／河内布施の長屋門・堂島の米蔵

その他、戦国期の五輪塔・地蔵を移築、公開している。

②第二ブロック：「大阪府指定文化財を中心とするコーナー」

府指定有形文化財／大和十津川の民家・越前敦賀の民家・南部の曲家

府指定民俗文化財／小豆島の農村歌舞伎舞台

未指定／くり舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を移築、公開している。

2. 各種行事の開催について

①押し花作品展と押し花教室 平成15年4月1日（火）～5月15日（木）、南部の曲家で、押し花作家水嶋光子とその仲間たち（押し花工房はなあ～と主催）の作品を展示した。また期間中の土曜日には身近な草花を使った押し花教室を開催した。期間中来館者は、8,608名。

※なお、上記団体による「押し花教室」を11月23日（日）・24日（祝）にも、大和十津川の民家において開催した。体験参加者 33名

②『梅の撮影会』写真展 平成15年4月12日（土）～19日（土）、富士写真フイルム・しまやカメラの協力により、大和十津川の民家で館内の梅林と民家をテーマに行われた撮影会による作品の展示を行った。期間中来館者は、1,109名

※なお、「梅の撮影会」を平成16年2月21日（土）に館内において開催した。撮影会参加者32名

③民家模型展 平成15年4月25日（金）～5月1日（木）、大和十津川の民家で、古民家工房 小畑克巳氏による民家模型の展示と解説を行なった。期間中来館者は、792名

④春・秋の茶会 平成15年4月27日（日）・29日（祝）、10月25日（土）・26日（日）に、裏千家千草会が、日向椎葉の民家の、縁側や庭で野点を開催し、来館者にふるまった。

茶会参加者は、各会とも、約300名

⑤こどもの日なつかしのおもちゃプレゼント 平成15年5月5日（祝）に、先着200名の小中学生・幼児に、竹とんぼ等をプレゼントした。また、日向椎葉の民家の庭に、鯉のぼりを飾った。

⑥昔話と紙芝居に親しむ会 平成15年6月7日（土）・10月25日（土）・11月29日（土）・3月21日（日）、豊中子ども文庫・豊中紙芝居の会により、大和十津川の民家で、紙芝居と昔話の会を行なった。参加者 約200名

⑦七夕飾り 7月上旬に、日向椎葉の民家・大和十津川の民家に七夕の飾りつけをし、来館者に短冊に願いごとを書いて吊してもらった。期間中来館者は、693名

⑧夏休み竹細工教室・絵画教室 平成15年8月23日（土）～24日（日）、夏休みの体験学習行事として、ボランティア講師による竹細工教室、箕面市在住の画家の指導により、当博物館の民家を

描く絵画教室を行なった。体験参加者 87名

- ⑨なるせ女剣劇団民家集落公演 平成15年10月19日（日）、小豆島の農村歌舞伎舞台で、なるせ女剣劇団による公演を行なった。公演参加者 約150名
- ⑩はたおり体験教室 平成15年10月25日（土）～11月3日（祝）、南部の曲家で、さをりひろば・かるがも広場による、機織り体験を行なった。開催期間中は、民家の囲炉裏に火を入れ、燻蒸にもつとめた。体験参加者 約168名
- ⑪民家の囲炉裏で暖まろう 平成15年11月～平成16年3月までの毎土・日・祝日、飛騨白川の民家・南部の曲家の囲炉裏に火を入れ、来館者にほうじ茶などの無料サービスを行い、土間でのわらじ体験も同時に行なった。期間中来館者は、7,833名
- ⑫「落語で笑うて民家－『笑・会』民家集落秋の口演－」平成15年11月9日（日）、大和十津川の民家で、大阪府老人大学上方演芸科3期終了生らによる落語発表会を開催した。参加者 約40名
- ⑬しめ縄作り教室 平成15年12月14日（日）、南部の曲家を会場に、笹部豊子さんによる、正月用しめ縄飾り製作と、大和十津川の民家を会場に、大元敦子さん等による、正月リースの製作体験学習を開催した。
- ⑭正月飾り展 平成16年1月6日（火）～31日（土）まで、移築民家各地に伝わる正月飾りを、各民家内に再現展示した。期間中来館者は、1,601名
- ⑮ふるさとのお雑煮会 平成16年1月11日（日）～12日（祝）、飛騨白川の民家・大和十津川の民家で、移築した民家のふるさとに伝わる伝統的なお雑煮を再現し、民家の囲炉裏端で来館者にふるまった。雑煮売上げは 687食
- ⑯もちつき体験 平成16年2月1日（日）、芝生広場で、臼と杵をつかって昔ながらの餅つき体験学習を開催した。期間中の入館者 182名
- ⑰観梅の頃『梅と箏とトークのひとつとき』 平成16年2月29日（日）、大和十津川の民家で、箏演奏家彩里京鼓さんの演奏会と、館内の梅林鑑賞、茶菓子の接待を行なった。参加者 12名
- ⑱民家集落作品展 平成16年3月7日（日）～21（日）、当博物館の民家や、日本の民家に関する作品を募集し、南部の曲家に展示した。優秀作品には賞を授与し、賞品の贈呈もあわせて行なった。出品参加者 37名 開催期間中来館者 2,611名
- ⑲芸達者・町の名人発表会 平成16年3月20日（祝）、小豆島の農村歌舞伎舞台で、地域で伝統芸能、パフォーマンス等に携わる個人・団体の発表会を開催した。期間中入館者は、278名

（2）普及啓発事業について

- 1. 故きを温ねて 当館館長による、博物館周辺の史蹟と館内を見学するウォーキングツアーを開催した。参加者は、合計51名
 - ・平成15年5月24日（土）観音寺、都市緑化植物園、梅塚古墳、学芸員による当館の解説見学
 - ・平成15年11月22日（土）大石塚・小石塚古墳、原田神社、大塚古墳、企画展「世界遺産白川郷―合掌造りと大家族―」を見学・平成16年3月13日（土）佛眼寺、寄せ地蔵、八坂神社、坂田三吉の墓、企画展「ともしび―祭りの灯、暮らしの灯―」を見学
- 2. 民家特別公開 平成15年11月15日（土）～16日（日）、平成16年3月13日（土）～14日（日）、通常は公開していない、飛騨白川の民家二階・奄美大島の高倉内部を一般公開し、学芸員・解説ボ

ランティアが解説を行なった。各回の期間中来館者は、計1,783名

3. 秋の企画展「世界遺産白川郷—合掌造りと大家族—」平成15年10月1日（水）～12月25日（木）、「カルチュアはっとり」展示室で、岐阜県白川村の合掌造りと大家族に関する資料と、当館に移築された大井家の昭和初期の暮らしについて展示した。期間中来館者は、11,636名

4. 企画展示 平成15年9月に完成した「カルチュアはっとり」展示室において以下の企画展示および講演会を開催した。

平成15年9月2日（火）～9月27日（土）、「民家の今昔」期間内講演会、水野正好理事長「古代のイエ・発掘」、井藤徹館長「埴輪の家」期間中入館者 2,385名

平成16年1月6日（火）～2月12日（木）、「かやぶき—いにしへの民家—」期間中入館者は、2,400名

平成16年2月15日（日）～3月14日（日）、「ともしび—祭りの灯・暮らしの灯—」期間内入館者数3,674名

平成16年3月20日（土）～3月31日（水）、「竈形土器の語るもの」期間内講演会、水野理事長「竈形土器とまじなひ」、合田幸美「竈形土器とくらし」期間内入館者数1,990名

伝統芸能ミニ講座①「農村歌舞伎つずうらうら」羽田昇 ②「はにわに見る芸能」水野理事長 ③「農耕具と祭祀」中村ひさ子 ④「椎葉神楽と民俗」永松敦 期間内入館者数 524名

5. ジュニア民家解説見学会 平成15年8月24日（日）、当館学芸員が小・中学生を対象に民家解説見学会を行なった。参加者 10名

6. 解説見学会 11月の毎土曜・祝日に、来館者に学芸員が民家解説を行なった。

期間中来館者は、3,570名

7. 博物館実務実習 大学の学生に対し、学芸員の実務について指導した。

期 間	大 学 名	人 数
6月3日（火）～7日（土）	追手門学院大学	6名
7月23日（水）～26日（土）	関西学院大学	6名
9月24日（水）～27日（土）	帝塚山大学・大谷大学	4名

8. みんなクラブ（伝統文化子ども教室）平成15年7月20日（日）～12月20日（土）の土、日曜、豊中市立泉丘小学校3年～6年の児童及び保護者を対象に、蚕の飼育・観察、機織り体験などの活動を行なった。参加者26名

9. その他 平成15年10月30日（木）、豊中市立緑地小学校3年生を対象に、ボランティアが当館の畑で栽培したサツマイモの芋掘り、セイロ蒸しと試食、落葉・ドングリ拾い等の体験学習を行った。参加者 110名

（3）広報事業について

1. 広報事業 博物館の各種事業の実施にあたり、府庁記者クラブ・豊中記者クラブ等の報道機関・地域広報紙・ミニコミ紙に資料提供を行い、博物館の事業内容のPR誌等を作成し、配布した。

項 目	作 成 月	発行枚（部）数
秋の催し案内	8月	18,000部
冬の催し案内	12月	18,000部
春の催し案内	3月	20,000部
ふるさとだより	9月	3,000部

(4) 館内諸施設の整備について

1. 民家の補修 各民家の腐朽、虫害によって傷んだ床板等を一部差し替えた。
2. ボランティア活動 博物館敷地内の竹林の伐採・植栽の手入れ・畑の耕耘・作物の栽培、管理等、館内の景観保全や、民家の清掃補助業務を、公募したボランティアに委託し、施設の整備強化に努めた。

(5) 博物館友の会活動について

1. 趣旨 民家と歴史を学び、昔の暮らしを知り、博物館の発展に寄与する団体。会員有志と、博物館との共催で、行事を開催した。

2. 友の会主催行事

開催日	行事名称	内 容	参加数
5月22日(木)	民家町並み見学ツアー	美山町茅葺き集落と重文石田家住宅の見学	23名
6月14日(土)	新潟の笹団子を作ろう	新潟で旧暦端午の節句に作られる郷土食作りと試食体験	11名
11月29日(土)	民家町並み見学ツアー	醒ヶ井宿と湖東のヴォーリズ建築を見学	19名
3月6日(土)	民家町並み見学ツアー	京都中京室町と新町の町家を見学	17名

3. 友の会民家解説ボランティア 平成15年・5・9・10・11月、平成16年3月の毎日曜、会員有志で結成されたグループにより、一般来館者の集中する春秋の毎日曜、飛騨白川の民家を中心に民家解説を行なった。民家解説ボランティアの指導・助言は、当館学芸員が担当した。期間中来館者は、7,201名

※上記解説ボランティアの知識を高めるため、平成15年7月5日(土)、奥山淳三氏(古民家建築家)による、木造建築の基礎知識に関する講座を開催した。参加者 12名

(6) 入館者数及び入館料一覧表

(平成15年度)

月	入館者数(人)	入館料(円)	開館日数(日)
4月	4,416	1,806,900	26
5月	8,042	2,383,100	27
6月	1,946	732,000	25
7月	1,897	691,250	27
8月	1,980	672,800	27
9月	2,385	824,600	25
10月	7,529	1,934,600	27
11月	4,754	1,502,150	27
12月	1,135	395,250	21
1月	1,601	565,250	23
2月	2,279	829,700	25
3月	4,773	1,719,300	26
合 計	42,737	14,056,900	306
14年度	38,805	12,992,600	298

※ 入館料については消費税込みで記入。消費税抜きの入館料収入は13,387,533円

事務所・博物館所在地



本部事務所

〒590-0105 堺市竹城台3丁21番4号
Tel (072) 299-8791 Fax (072) 299-8905

資料情報係

Tel (072) 290-0491 Fax (072) 290-2611



京阪支所

〒572-0814 寝屋川市堀溝1丁目1-15
Tel (072) 811-3630 Fax (072) 811-3632



交野分室

〒576-0022 交野市藤が尾1丁目2
Tel (072) 895-1200 Fax (072) 895-1201

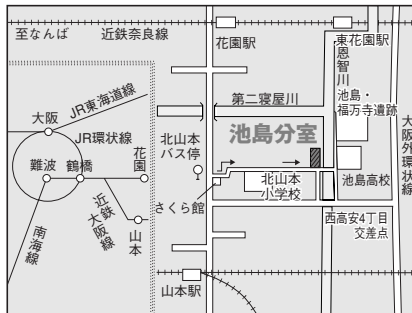


中部調査事務所

〒577-0012 東大阪市長田東1丁目9番16号
Tel (06) 6785-3921 Fax (06) 6785-3515

普及部

Tel (06) 6785-4531 Fax (06) 6785-5431



池島分室

〒581-0842 八尾市福万寺町8丁目地先
Tel (0729) 99-9890 Fax (0729) 90-5131



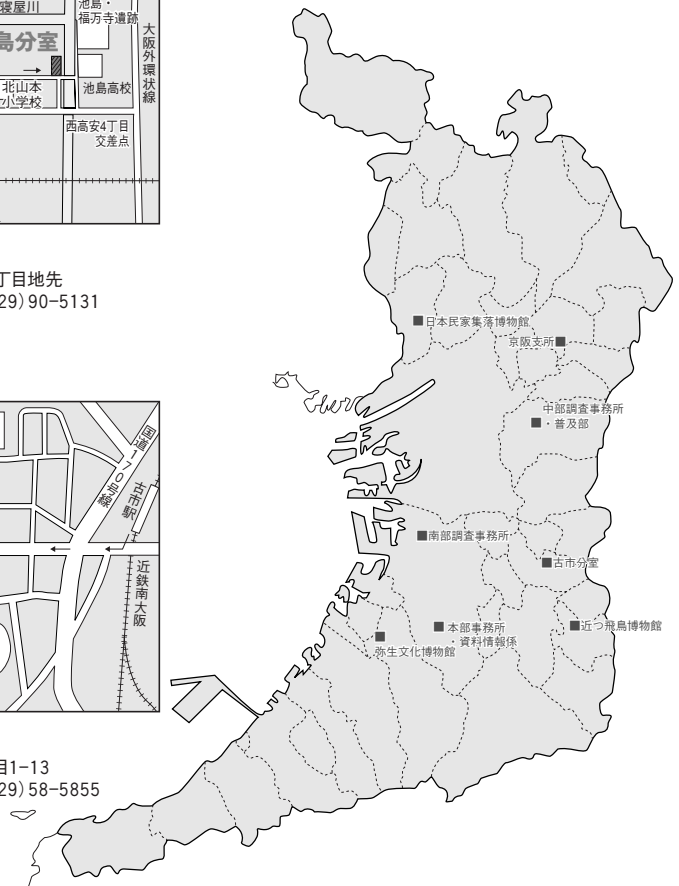
南部調査事務所

〒590-0015 堺市南田出井町1丁目1番10号
Tel (072) 227-6001 Fax (072) 227-6101



古市分室

〒583-0854 羽曳野市軽里3丁目1-13
Tel (0729) 50-2080 Fax (0729) 58-5855

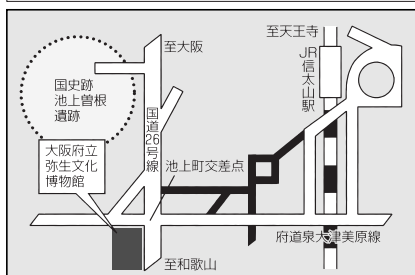


ホームページアドレス

<http://www.occh.or.jp>

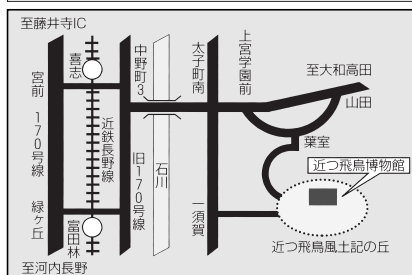
大阪府立弥生文化博物館

〒594-0083 大阪府和泉市池上町443
TEL.0725-46-2162(代) FAX.0725-46-2165
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



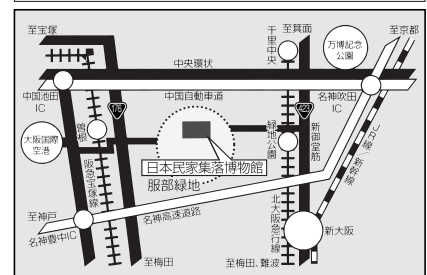
●アスカディア・古墳の森 大阪府立 近つ飛鳥博物館

〒585-0001 大阪府南河内郡河南町大字東山299番地
TEL.0721-93-8321(代) FAX.0721-93-8325
<http://www.mediajoy.com/chikatsu/>



むかしのおうちのはくぶつかん 日本民家集落博物館

〒561-0873 大阪府豊中市服部緑地1-2
TEL.06-6862-3137(代) FAX.06-6862-3147
<http://www.occh.or.jp/minka/>



財団法人 大阪府文化財センター年報

平成15年度

平成16年11月30日 発行

発行 財団法人 大阪府文化財センター

〒590-0105 大阪府堺市竹城台3丁21-4

TEL072-299-8791 FAX072-299-8905

印刷 株式会社 中島弘文堂印刷所

表紙 シンボルマーク

八尾市美園古墳出土 重要文化財 家形埴輪